お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

（受付時間）365日／9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

（受付時間）9：00～17：30／携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

愛情点検

●長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか

- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源コードに深い傷や変形がある。
- ●焦げ臭いにおいがする。
- ●冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ●ピリピリと電気を感じる。
- ●その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。
費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。
2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日･購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日
形 名	
購 入 店 名	電話　(　　　)

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話(03)3502-2111

日立冷凍冷蔵庫

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

形名
R-V5400形

お使いになる前に

■ **扉の平行調整はおすみですか？**（☞ 8 ページ）
・調節脚により扉の平行調整を行ってください。

■ **庫内を清掃**
・しめらせた柔らかい布で清掃してください。

■ **操作パネル・扉表面**（☞ 23 ページ）
・扉やハンドルは特別な鏡面加工をしているため指紋等が付きやすくなっています。付いたときはやわらかい布で拭いてください。

■ **運転開始後は**
・庫内が十分冷えるまでに半日以上かかる場合があります。
・大きめの運転音がしますが、異常ではありません。

■ **自動製氷機を使うときには**（☞ 18 ページ）
・使いはじめは氷ができるまでに約24時間かかる場合があります。
・1回の製氷個数は8個または6個です。
（製氷皿が8個用、6個用の2種類あります。☞ 19 ページ）

ご不明な点は 0120-3121-11 にご相談ください。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。
取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。

各部の名前と働き

扉操作パネル

パワフル冷凍 ①低温でおいしく保存したいときに。（16 ページ）

ハイスピード冷凍 ②食品を素早く冷凍したいときに。（15 ページ）

セレクト製氷（大きめ） ③氷の大きさを変えたいときに。（20 ページ）

冷蔵室（10 ページ）

ムラなく冷やしておいしく保存。

棚の高さを使い方に合わせて調節できます。（11 ページ）

スピード冷蔵コーナー

食品や飲みものを急いで冷やしたいときに。（13 ページ）

庫内操作パネル

冷蔵室温度調節（13 ページ）

冷凍室温度調節（16 ページ）

自動製氷機の自動おそうじ（27 ページ）

製氷停止に（21 ページ）

食品や飲み物を急いで冷やしたいときに（13 ページ）

フレッシュルーム（氷温室）（12 ページ）

お肉、お魚、加工品を微凍結状態で新鮮保存。

冷凍室上段（ハイスピード冷凍ルーム）（14 ページ）

お魚、お肉などをホームフリージングして保存。

うまみを守るハイスピード冷凍。（15 ページ）

製氷室（18 ページ）

給水タンクに水を入れるだけで自動的に氷を作って保存。

氷の大きさをお好みのタイプに。（20 ページ）

急いで氷を作りたいときに。（20 ページ）

野菜室（17 ページ）

うるおい、ビタミンで鮮度を長持ち。

冷凍室下段（パワフル冷凍ルーム）（14 ページ）

3段ケースだからたっぷり入ってすっきり収納。

低温保存のパワフル冷凍で鮮度を守る。（16 ページ）

オートクール

扉の開閉時に庫内温度が上昇した場合、扉を閉じたときにすばやく温度復帰できます。

半ドアアラーム

扉が1分以上開いていると、アラームが鳴り半ドア状態をお知らせします。（冷蔵室・製氷室・冷凍室下段）
解除のしかたは（29 ページ）

もくじ

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

据え付けるとき

■湿気の多い所水気のある所ではアース（接地）漏電ブレーカーを取り付ける

アース線接続

故障などによる漏電により、感電する恐れがあります。

●アース工事は、必ず販売店に依頼してください。（☞ 9 ページ）

■水のかかるところには 据え付けない

水ぬれ禁止

電気絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

■地震などによる転倒防止の処置をする

転倒し、けがの原因になります。（☞ 9 ページ）

電源や電源プラグ・コードは

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や 交流100V以外での使用はしない

禁止

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

●定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、冷蔵庫で押しつけたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●電源コードや電源プラグの修理は販売店にご相談ください。

■電源プラグはコードが下向きになるようにし根元まで確実に差し込む

逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因になります。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で 電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■電源プラグのほこりは定期的に取る

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■冷蔵庫のお手入れの際は必ず電源プラグを抜く

感電やけがをする恐れがあります。（☞ 22、39 ページ）

●必ずプラグを持って抜いてください。

⚠警告

ふだんご使用のとき

■本体や庫内に水をかけない

水ぬれ禁止

電気絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

■引火しやすいものは入れない

禁止

ベンジン・エーテル・LPガス・シンナー・接着剤などは引火爆発する危険があります。

■冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない

水ぬれ禁止

こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電し、感電・火災の原因になります。

■可燃性スプレーを近くで使わない

禁止

引火して火災の原因になります。

■冷蔵庫の上にものを置かない

禁止

扉の開閉などで落下し、けがをする恐れがあります。

■薬品や学術試料を保存しない

禁止

揮発性の薬品など、厳しい管理の必要なものは、家庭用冷蔵庫では保存できません。

■自動製氷機の機械部には手を触れない

接触禁止

製氷皿が回転したとき、けがをする恐れがあります。（☞ 19 ページ）

■扉にぶら下がったり 引き出し扉やケース類に乗ったりしない

禁止

倒れたり、手をはさんだりして、けがをする恐れがあります。

■下段フリーザーケースのステンレストレイを分解しない

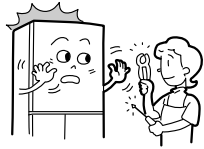
禁止

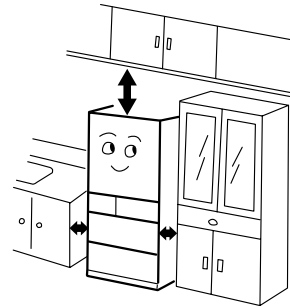
ステンレスのはしでけがをする恐れがあります。
はずれてしまったときは販売店までご連絡ください。

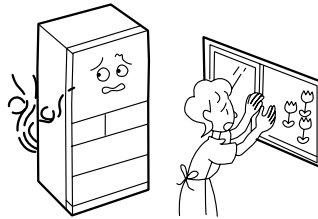
⚠警告

冷媒について（可燃性ガスを使用していますので、次のことにご注意ください。）

■冷蔵庫本体に ねじ等の鋭利なもので傷をつけない

禁止

可燃性の冷媒を使用しているため、壁内の配管から冷媒が漏れると発火・爆発の原因になります。

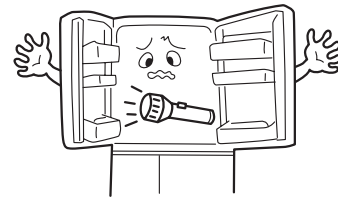
■冷蔵庫の周囲は すき間をあけて据えつける（☞ 8 ページ）

冷媒が漏れた場合に滞留し、発火・爆発の原因になります。

■冷媒配管を傷つけたときは冷蔵庫から離れ火気や電気製品の使用を避ける

傷つけたときは窓を開けて換気し、販売店または修理受付窓口0120-3121-68にご連絡ください。

■廃棄処分するときは販売店や市町村に引き渡す

冷媒が漏れると発火・爆発の原因になります。

■庫内では電気製品を使用しない

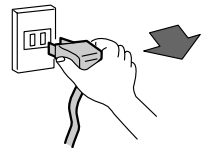
禁止

冷媒が漏れると、接点の火花により発火・爆発の原因になります。

■庫内灯は指定のものを使いゆるみなくしっかりねじ込む

万一、冷媒が庫内に漏れた場合、発火・爆発の原因になります。

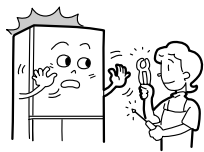
- 交換の際は必ず電源プラグを抜いてください。感電やけがをする恐れがあります。（☞ 23 ページ）

もしものとき

■製品の異常や故障のときは 電源プラグを抜き 運転を中止する

感電やけがをする恐れがあります。

- 必ずプラグを持って抜いてください。

■分解・修理・改造は絶対にしない

分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

■可燃性ガスが漏れているときは冷蔵庫に触れず 窓を開けて換気する

電源プラグの抜き差しなどの火花で引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

廃棄するとき

■リサイクルのときなど、保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合はドアパッキングをはずす

⚠注意

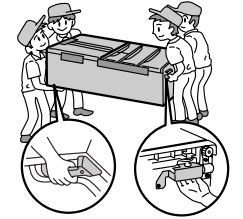
移動・運搬のとき

■傷付きやすい床の上では 冷蔵庫下部の移動車輪は使用しない

禁止

移動車輪により床材を傷付ける恐れがあります。

- 傷付きやすい床では、保護用の板などを敷いてください。

■運搬するときは 運搬用取っ手を持つ

取っ手以外を持つと、手がすべってけがをする恐れがあります。（☞ 36 ページ）

- 安全上、必ず4人で運搬してください。
- イラストのように、扉を上にして運搬してください。
- 取っ手をクレーン等で吊らないでください。

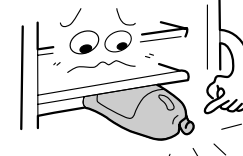
ふだんご使用のとき

■ダブルポケット前列には 底まで入らないビン類は入れない

禁止

大きなビン類などを無理に入れると、扉開閉時に落下し、けがをする恐れがあります。

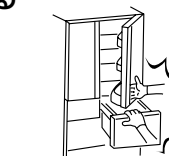
■食品は棚より前に出さない

禁止

ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをする恐れがあります。

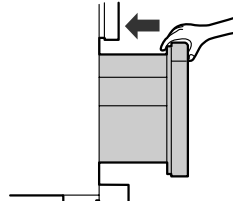
■冷凍室にビン類を入れない

禁止

中身が凍って割れ、けがをする恐れがあります。

■２つ以上の扉を開くときや他の人が冷蔵庫に触れているときは 扉で指をはさまないか確かめる

扉と扉のすき間に指をはさみ、けがをする恐れがあります。

■引き出し式の扉を閉めるときは 上面を持たない

禁止

扉の上面を持って閉めると、指をはさんでけがをする恐れがあります。

■冷凍室の食品や容器をぬれた手で触れない

接触禁止

凍傷になる恐れがあります。（特に金属製のもの）

■最下段の引き出し扉を開けるときは 冷蔵庫に足を近づけすぎない

禁止

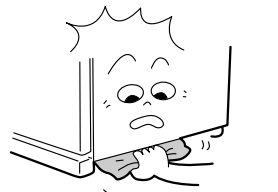
扉を開けたとき、足の甲などに当たり、けがをする恐れがあります。

■においったり 変色した食品は食べない

禁止

腐敗により、食中毒などの病気の原因になる恐れがあります。

■冷蔵庫底面に手を入れない

禁止

清掃するとき底面に手を入れると、鉄板で手を切る恐れがあります。

使いはじめ

● 冷蔵庫は「食品の鮮度をよくするもの」ではなく、あくまでも「食品が傷むことにある程度のブレーキをかけるもの」です。取扱説明書に従って正しく使用し、適切な食品管理を心がけてください。

据え付け場所は

床が丈夫で水平なところ

● 次のような場所では、厚さ1cm程度の丈夫な板を下面全面に敷いてください。
・冷蔵庫底面の熱により変色・変形する恐れのある、じゅうたん・畳・フローリング・塩化ビニール製の床材など
（夏場には、床面が50～60℃になることがあります。）
・冷蔵庫本体が傾く恐れのある、柔らかい床・弱い床など

熱気・直射日光の当たらないところ

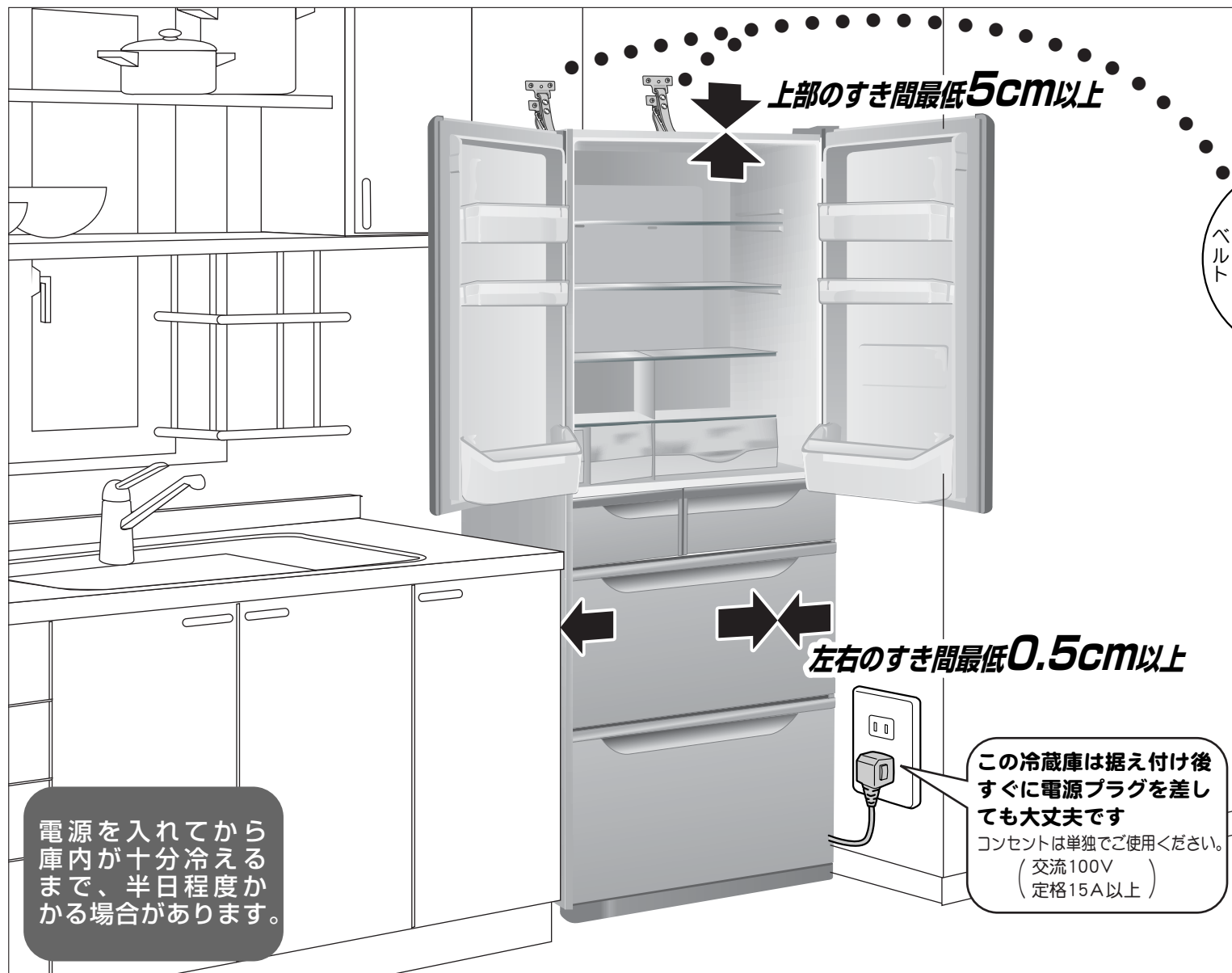
● 冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。
● 直射日光はプラスチック部分の変色の原因にもなります。

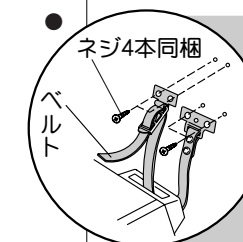
湿気が少なく風通しのよいところ

● さびの発生をおさえます。また電気代のムダを防ぎます。

最低 左右0.5cm以上、上部5cm以上

● 冷蔵庫は食品を冷やすため、周囲から熱を逃がしています。効率良く冷やすために、周囲に十分なすき間を開けてください。
● 本体側面中央では表示寸法より若干大きめになっていますので、放熱効率のためにも据付寸法は余裕をもってご準備ください。
● 背面は壁に付けられますが、振動音がするときや、壁の材質によって変色する恐れがあるときは（圧縮機周辺の空気がホコリを伴って上昇するため）、壁から離してください。

※硫化ガス噴出の温泉地区等に据え付ける場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。

地震にそなえて

背面の取っ手（2ヶ所）にベルトを通し、丈夫な壁や柱に固定する

冷蔵庫用転倒防止ベルトのご使用を、おすすめします。
「冷蔵庫用転倒防止ベルト」（別売品）部品番号 R－826CV 300（1本入り）を2個ご使用ください。
詳しくは販売店にご相談ください。

アース（接地）について

万一の感電防止や雑音障害を防ぐために、アース（接地）をおすすめします。特に、次のようなところには必ずアースをしてください。
● 土間や洗い場など水気のあるところ
● 地下室など湿気のあるところ

アース端子があるとき

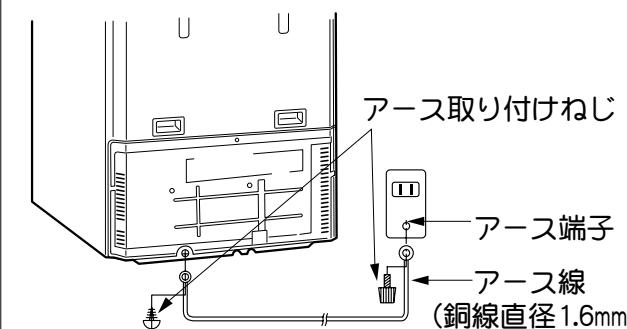
アース線を背面左下のアース取り付けねじ（⏚記号）と電源コンセントのアース端子に接続してください。

「アース線（2.5m）」（別売品）部品番号 NW-60R6 52

アース端子が無いとき

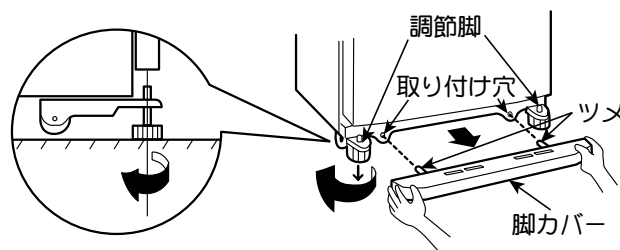
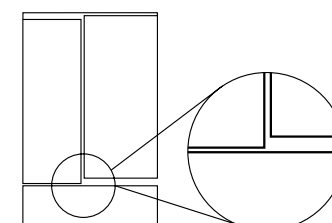
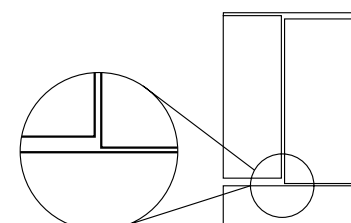
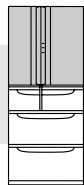
お買い上げの販売店に依頼し、アース工事（D種接地工事・有料）をしてください。

特に水気の多いところに据え付けるとき

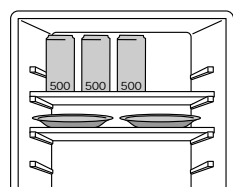
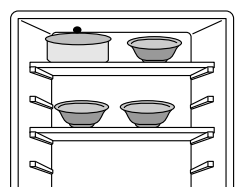
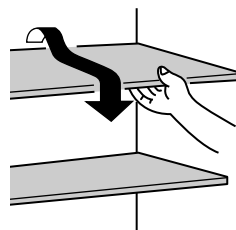
アースの他に、漏電しゃ断機の設置が義務づけられています。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

接続してはいけないところ
● 水道管 （感電の危険）
● ガス管 （爆発の危険）
● 電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

調節脚で冷蔵庫の扉の平行調整をする

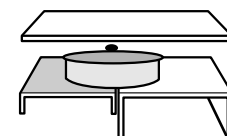
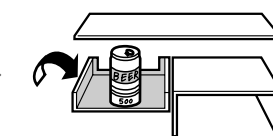
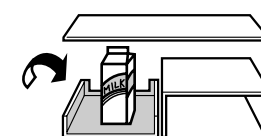
扉下がり・騒音・振動を防止します

1. 脚カバーの両端を持って、手前に強く引いてはずす
2. 左右の調節脚を回して下げ、冷蔵庫を固定する
3. 左右の調節脚を、冷蔵室の扉が平行になるように調整する
4. 脚カバーのツメ（左右）を穴に差し込み、取り付ける

● 調節脚を回す量は、扉段差1mmにつき1回転を目安にしてください。
● 冷蔵庫本体が床になじみ、扉が平行に直るまでに、ある程度日数（1～5日）がかかる場合があります。

温度調節（ 13 ページ）

高さかわるん棚

食品の高さや使い方に合わせて調節できます。

- 棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出すと取り外せます。
- 取り付けはお好みの位置にあわせ、棚を奥まで押し込み奥のツメを引っかけます。

※ 棚の高さを変えるときは、食品をのせたまま行わないでください。

ひっくりかえるん棚

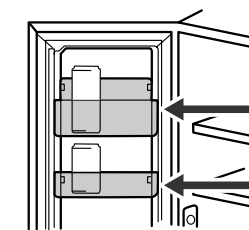
棚のはずしかた（ 24 ページ）

- 固定棚はひっくり返さずにそのままで使用してください。

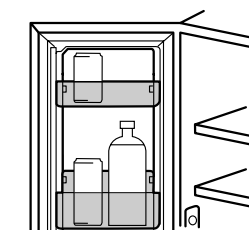
高さかわるポケット（右扉）

食品に合わせて高さを変えられます。（ ポケットのはずしかたは 24 ページ）

入れかわるポケット（左扉）

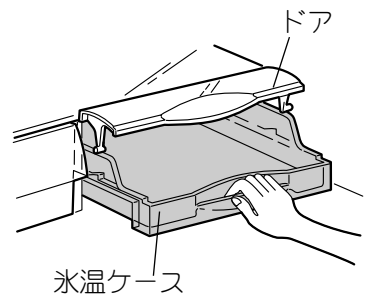
食品に合わせて位置を変えられます。（ ポケットのはずしかたは 24 ページ）

上段に500mL缶、
下段に350mL缶が
入ります。

入れ替える

上段に350mL缶、
下段に500mLペット
ボトルが入ります。

ご注意

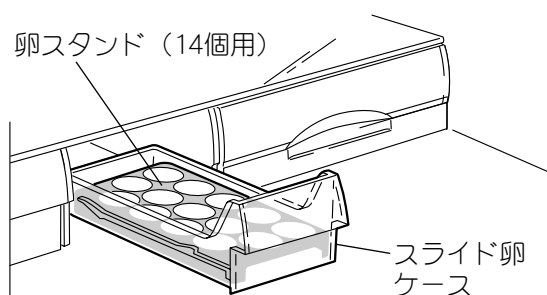
- 食品を入れる際、ランプカバーに食品を強く突き当てないでください。ランプカバーが割れることがあります。
- 調理直後のなべ、やかんなど熱い食品は、冷蔵室に入れないでください。（棚の耐熱温度は約50℃です。）
- かんきつ類の果物を切ったり、皮をむいて保存するときは、そのまま棚に置かないでください。かんきつ類の精油成分で、プラスチックが変質します。
- 水分の多い食品を冷気の吹き出し口手前に置くと、凍ることがあります。特に、缶飲料は凍ると破裂する恐れがあるので置かないでください。
- 食品は適当な間隔を取って貯蔵してください。

フレッシュルーム（氷温室） 約−2～0℃

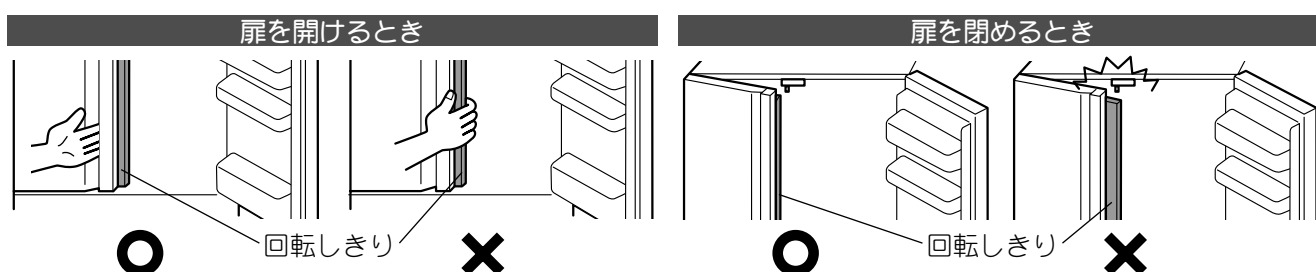
生鮮食品が凍る寸前の温度で、肉や魚介類の風味や食感を損ねず、新鮮保存できます。

氷温ケースの前には食品を置かないでください。

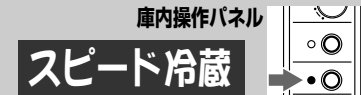
- 冷蔵室扉を閉めるときは、氷温ケースを押しこんだ状態で閉めてください。ケースを引き出した状態で扉を閉めると、ドアやケース、食品を破損することがあります。
- 豆腐・こんにゃく・ヨーグルトなど水分の多い食品をフレッシュルーム（氷温室）に入れないでください。食品が凍結します。

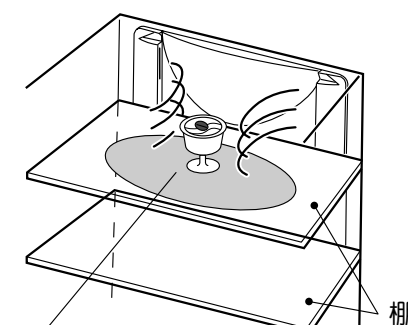
卵ルーム

最大14個の卵が入り、10個入りパックをそのまま入れて使用することもできます。

スライド卵ケースの前には食品を置かないでください。

- 冷蔵室扉を閉めるときはスライド卵ケースを押し込んだ状態で閉めてください。スライド卵ケースを引き出した状態で閉めると、ドアやケース、食品を破損することがあります。
- 卵スタンドを裏返すと小物類が保存できます。
- ダイヤル“強”でお使いの場合は卵が凍結する場合がありますので、扉ポケットに収納してお使いください。

回転しきり

- 右側の扉が開いている状態で、左側の扉を開けるとき、回転しきりを持って開けないでください。部品が破損することがあります。
- 露付防止ヒーターが入っています。熱く感じることがありますが、異常ではありません。
- 回転しきりは扉を開くとたたまれます。この状態のまま扉を閉めてください。回転しきりを起こして扉を閉めると、部品を破損することがあります。また、扉が半開きになります。
- 回転しきりのため、左側の扉は開閉が多少重く感じる場合がありますが、異常ではありません。

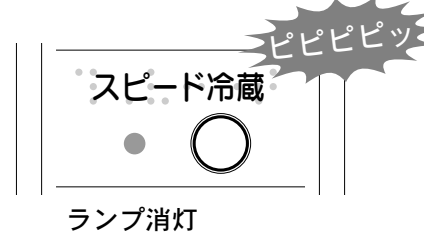
食品や飲み物等を急いで冷やしたいときに　スピード冷蔵

1 スピード冷蔵コーナーに食品を置く

スピード冷蔵コーナーは冷蔵室上段棚（☞10 ページ）

図の位置に食品を置くと、より速く冷やすことができます。

2 スピード冷蔵ボタンを押す

ランプ点灯

3 約45分で「スピード冷蔵運転」を自動終了

ランプ消灯

途中で止めるときはもう一度スピード冷蔵ボタンを押す

ランプ消灯

ご注意

- 水分の多い食品や缶飲料は凍結して破裂する恐れがあるので吹き出し口の手前には置かないでください。

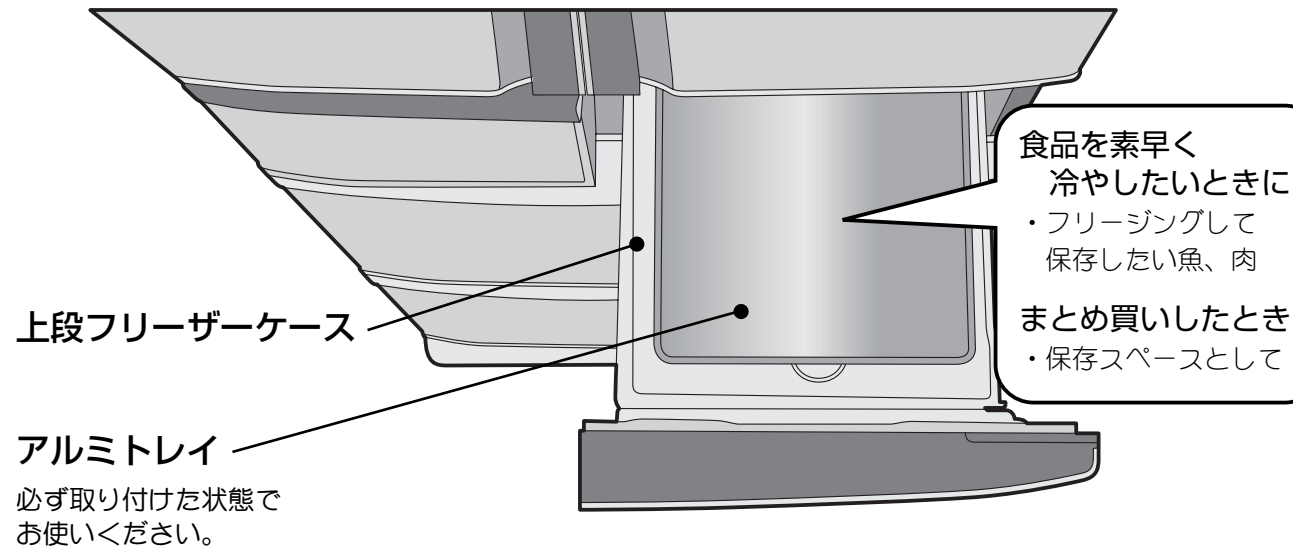
冷蔵室温度調節（れいぞー）

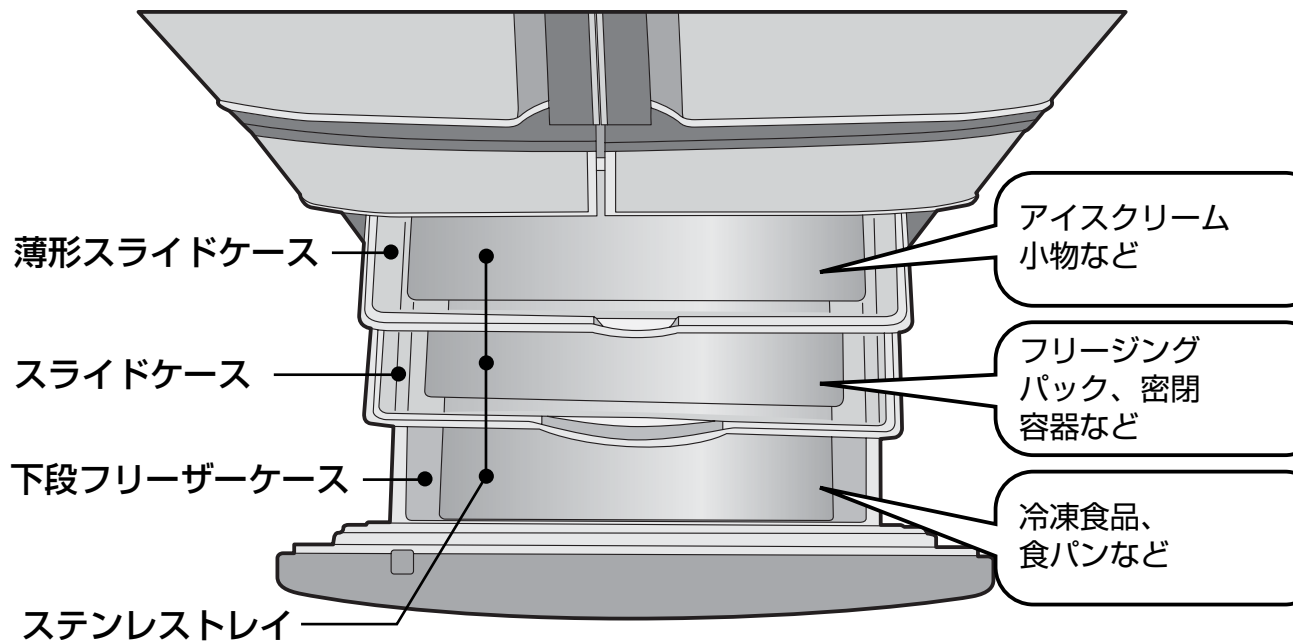
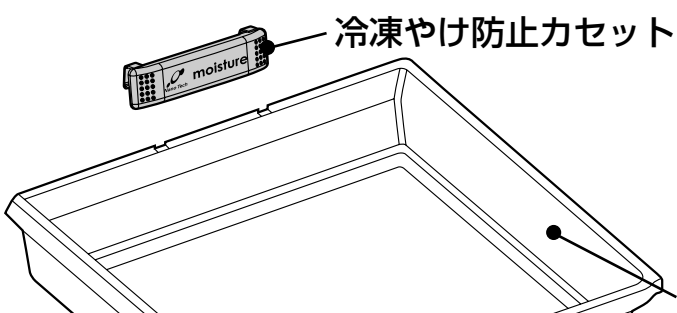
強 チルド（きょ）	“中”より約1～4℃低め
中	約2～6℃
弱（じゃ）	“中”より約1～4℃高め

- ダイヤルを“強”または“弱”にしますと、フレッシュルーム（氷温室）の温度も変わります。
- ドアポケットは、上表の温度より若干高めになります。
- 通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
- 点字は省略文字になっていますので、身近な健常者が取扱説明書の内容を説明してあげてください。
- 表の温度は、周囲温度30℃で、食品を入れずに扉を閉め、安定したときの目安です。

温度調節(16 ページ)

冷凍室上段 (ハイスピード冷凍ルーム)

必ず取り付けた状態でお使いください。

冷凍室下段 (パワフル冷凍ルーム)

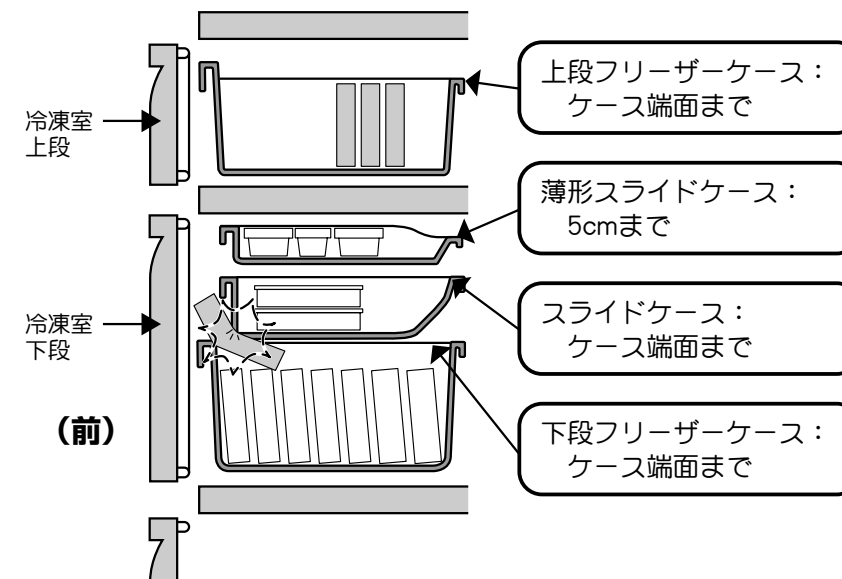
食品の鮮度を落とさず、大きさごとに分けて収納したいときにご利用ください。

冷凍やけ防止カセット (スライドケース奥)

水分を保持し、食材の冷凍やけを抑えます。

お願い

スライドケースを水洗いする際には必ず取り外してください。

● 冷凍やけ防止カセットを水につけると成分が変質する恐れがあります。

※定期的な交換は不要です。

収納できる食品の高さ

● 各ケースに収納できる食品の高さを守ってください。
・扉が確実に閉まらなくなり、冷えが悪くなります。
・食品や各ケースを破損することがあります。

● 薄形スライドケースに500mLのペットボトルを入れないでください。ペットボトルが凍ると膨張して取り出せなくなります。

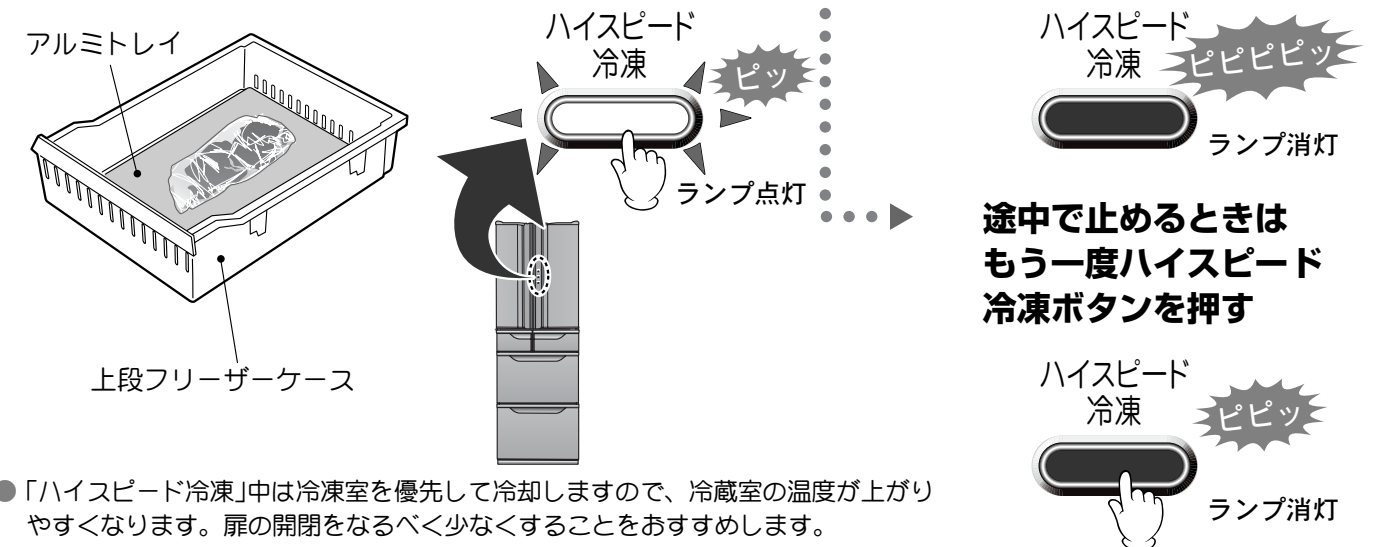
● 薄形スライドケースおよびスライドケースを外したまま使用しないでください。
・食品が詰まったり、ケース奥側に落下したりします。

ホームフリージングしたいときに(急速冷凍)

1 ハイスピード冷凍ルームに食品を入れる

2 ハイスピード冷凍ボタンを押す

3 約90分で「ハイスピード冷凍」運転を自動終了

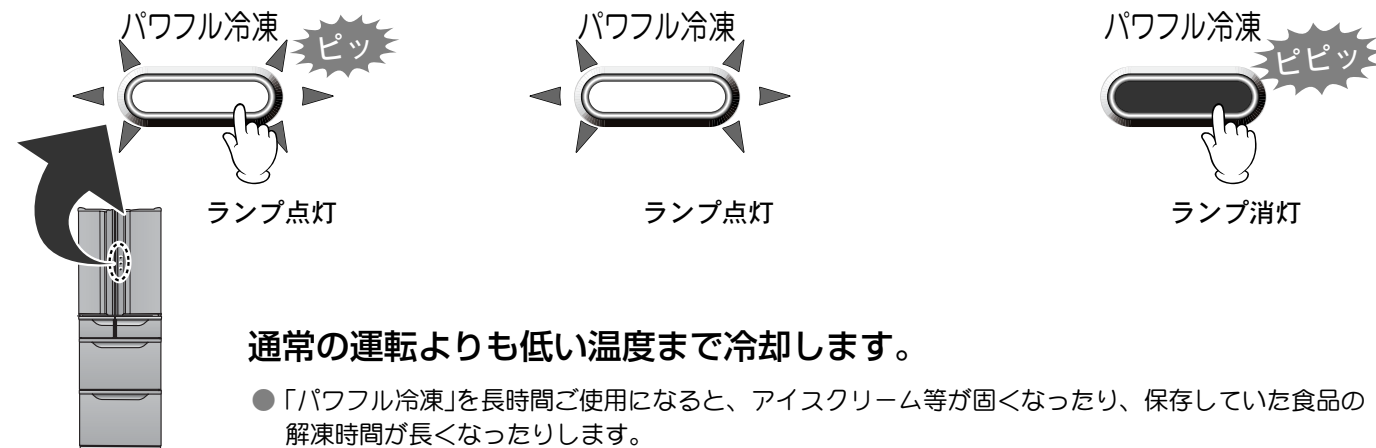
途中で止めるときはもう一度ハイスピード冷凍ボタンを押す

● 「ハイスピード冷凍」中は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室の温度が上がりやすくなります。扉の開閉をなるべく少なくすることをおすすめします。
● 「ハイスピード冷凍」または「ハイスピード製氷」終了後の60分間は、再度ハイスピード冷凍ボタンを押してもランプは点灯しますが、運転は行いません。60分経過後、運転を開始します。
● 食品を入れるときには、ラップをしてください。食品を直接アルミトレイに置くと食品がアルミトレイにはりつく場合があります。

お知らせ

● 寒冷剤（市販の保冷枕、食品用保冷剤など）の中に入っている尿素や硝安などが漏れると、アルミトレイ、ステンレストレイがさびることがあります。
● 塩分を含む食品を直接置かないでください。アルミトレイ、ステンレストレイがさびることがあります。

冷凍室（つづき）

通常冷凍より低温でよりおいしく保存したいときに（低温保存）

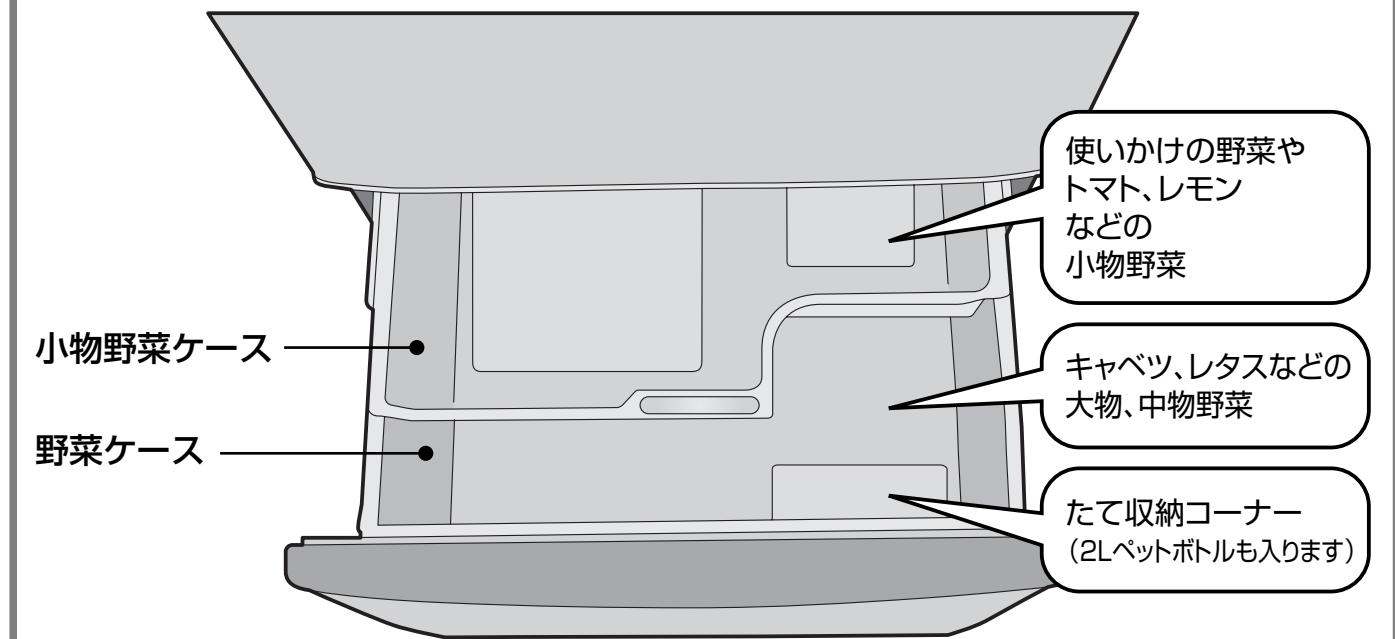
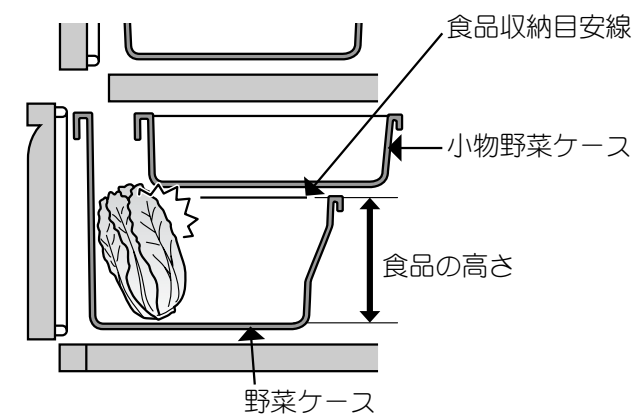
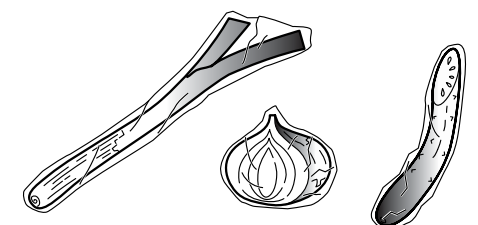
1 パワフル冷凍ボタンを押す ・・・・・・・・・ 運転中 ・・・・・・・・・▶ **2** やめるときはもう一度パワフル冷凍ボタンを押す

通常の運転よりも低い温度まで冷却します。

- 「パワフル冷凍」を長時間ご使用になると、アイスクリーム等が固くなったり、保存していた食品の解凍時間が長くなったりします。
- 外気温が低い（約5℃以下）ときは、「パワフル冷凍」の効果が弱まります。
- 外気温が高い（約35℃以上）ときは、「パワフル冷凍」の効果が弱まります。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電から復帰した後は、「パワフル冷凍」は解除されます。

冷凍室温度調節	
強	"中"より約1～3℃低め
中	約－20～－18℃
弱	"中"より約1～3℃高め

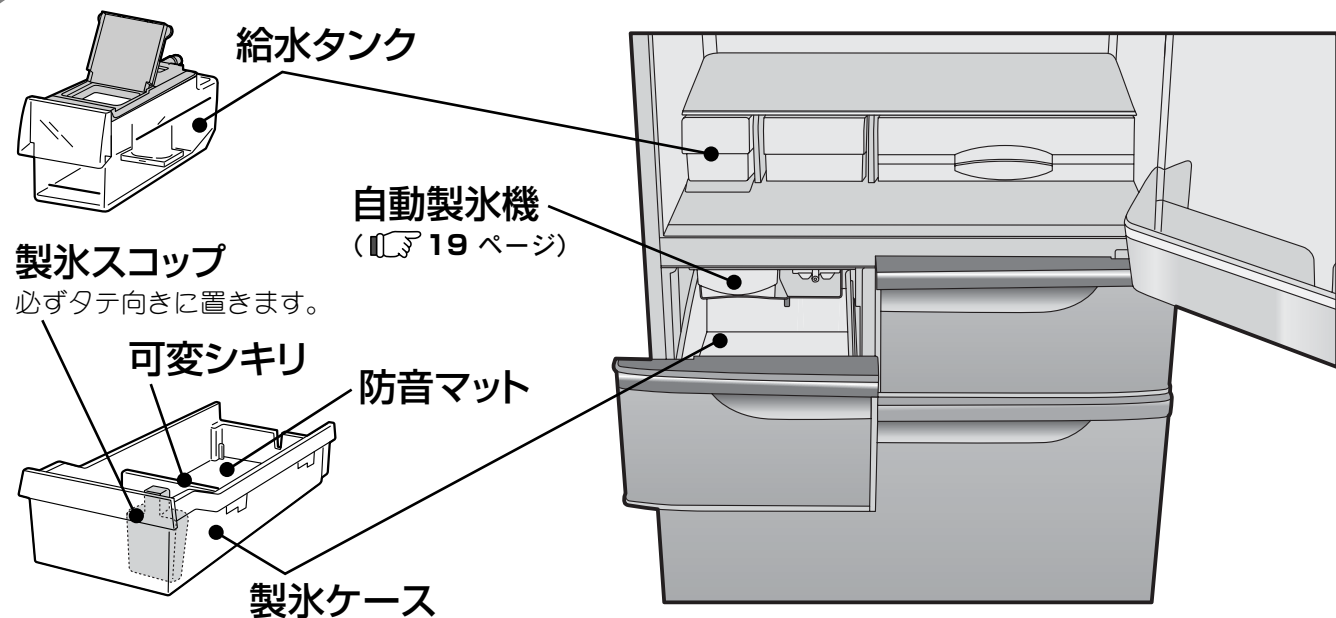
- パワフル冷凍運転時は、上表の温度よりさらに低めの温度になります。
- 通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
- 点字は省略文字になっていますので、身近な健常者の方が取扱説明書の内容を説明してあげてください。
- 表の温度は、周囲温度30℃で、食品を入れずに扉を閉め、安定したときの目安です。

野菜室（約3℃～7℃）

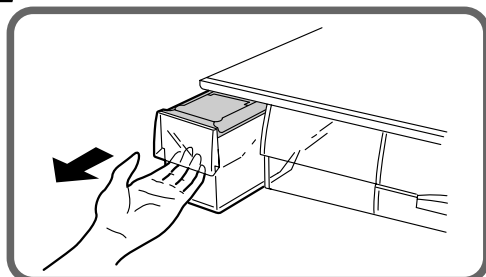
ナノチタンとビタミンの効果で野菜をしっかりと保存します。

野菜ケース

- 食品収納目安線より上に食品が出ないようにしてください。
  - ・扉が完全に閉まらなくなり、冷えが悪くなります。
  - ・食品や各ケースを破損することがあります。

【 こんなときには野菜にラップを 】

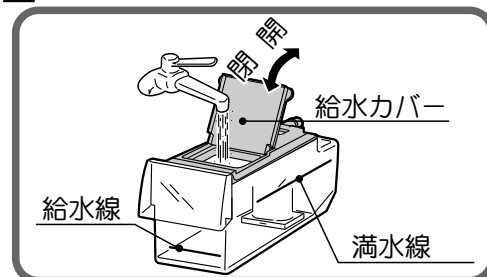
- 長ねぎ、にら、わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるとき
- 使いかけの野菜や果物を保存するとき
- 野菜が少ないときや、包装された野菜が多いとき
- 野菜室内の結露が気になるとき

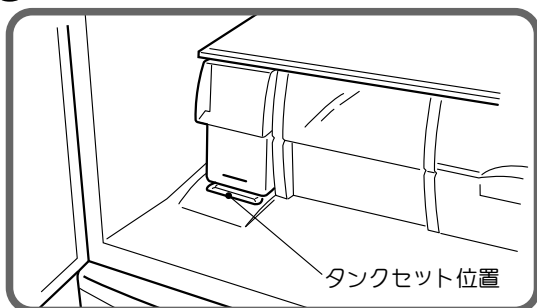
お知らせ

- 野菜の量や種類によっては、小物野菜ケースや野菜室天井に結露することがあります。
- 野菜室の扉は、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、たて収納コーナーの食品（ペットボトルなど）が転倒することがあります。
- ケース奥の冷気とりこみ口を食品でふさがないでください。水分の多い食品が凍結する恐れがあります。

氷の作りかた

給水タンクに水を入れるだけ！

1 給水タンクをはずす

- 取っ手を持ってまっすぐ手前に引き出す。

2 水を入れる

- 「満水線」まで水を入れる。
- 「満水線」より多く水を入れると給水タンクから水がこぼれる恐れがあります。

3 給水タンクをもどす

- 「タンクセット位置」の奥まで確実に押し込む。
- 給水タンクの押し込みが不十分なときは、給水されず製氷できません。

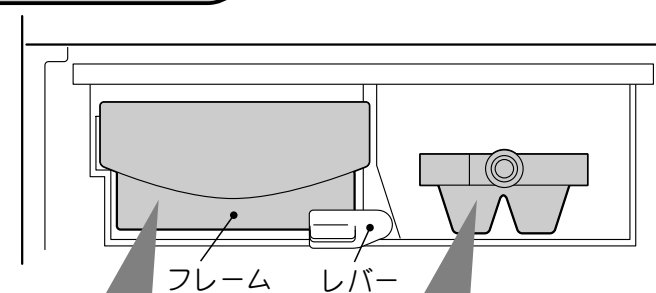
自動で氷を作ります。

4 給水タンク内の水が「給水線」までなくなったら水を補給する

- 水を作らないときは（☞21 ページ）

- 給水タンクには水以外は絶対に入れないでください。
（ジュース、お茶、お湯は故障や変形の原因になります。〔耐熱温度は50℃〕）

- 水道水をそのままご使用ください。井戸水や浄水器などで塩素分などを取り除いた水やミネラルウォーター、一度沸騰させた水をご使用の場合は、雑菌が繁殖しやすくなるため、こまめにお手入れをしてください。
（おそうじは☞27 ページ）
- ミネラルウォーターをお使いの場合は硬度100mg/L以下のものをお使いください。
- 給水タンク底面は凍結防止ヒーターが埋め込まれていますので温かく感じることがあります。

自動製氷機

自動製氷コーナー

- 自動で氷を作ります。
- 製氷皿を付け替えできます。

（製氷皿の取り付けかた・取りはずしかた（☞28 ページ））

手動製氷コーナー

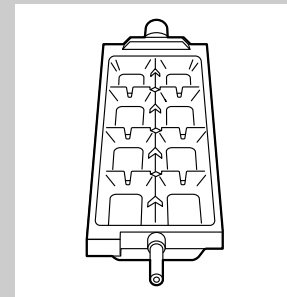
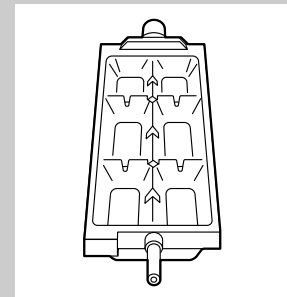
- 手動で氷を作ることができます。
- 付け替え用の製氷皿を保管できます。

製氷皿について

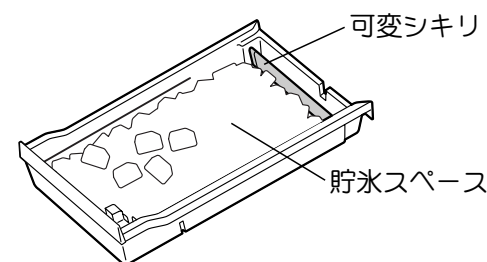
2種類の製氷皿（8個用、6個用）をお好みに合わせて自動製氷コーナーに付け替えできます。（出荷時は8個用が付いています。）

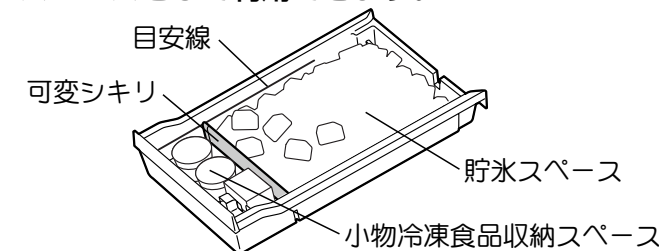
8個用

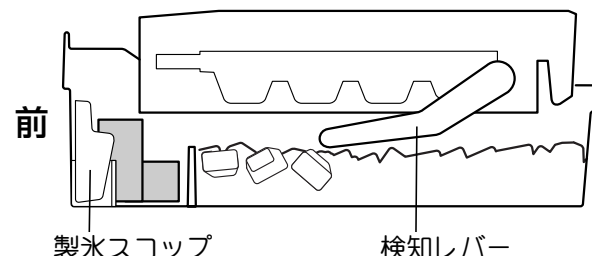
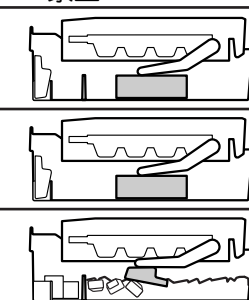
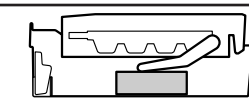
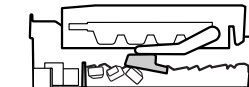
6個用

- 手動製氷コーナーで氷を作るときには、以下のことにご注意ください。
  - ・水以外は使用しないでください。
  - ・製氷皿の水位線以上水を入れないでください。
  - ・製氷皿を置くときに水がこぼれないようにご注意ください。
- レバー、フレームは製氷皿のお手入れ、付け替えのとき以外は動かさないでください。（☞28 ページ）
- 自動製氷コーナーに製氷皿を取り付けるとき、必ず製氷皿が空の状態で取り付けてください。

氷の保存のしかた

可変シキリを奥にセットすると

貯氷スペースを最大で使用できます。

可変シキリを手前にセットすると

手前をカップアイスなど小物冷凍食品の収納スペースとして利用できます。

- 貯氷スペースには自動製氷コーナーでつくった氷以外は入れないでください。（扉が開かなくなるなど故障の原因になります。）
- 小物冷凍食品収納スペースでは、食品が目安線より上に出ないようにしてください。
- 防音マットを外さないでください。氷の落下音が大きくなります。
- 防音マットの下に氷が入りこんだら取り除いてください。

氷の量は貯氷量検知レバーが自動的に確認します。
一定量になると製氷を停止します。

	可変シキリの後ろに冷凍食品を入れる
	可変シキリをつけずに冷凍食品を入れる
	製氷スコップが貯氷部分に放置されている

急いで氷を作りたいときに

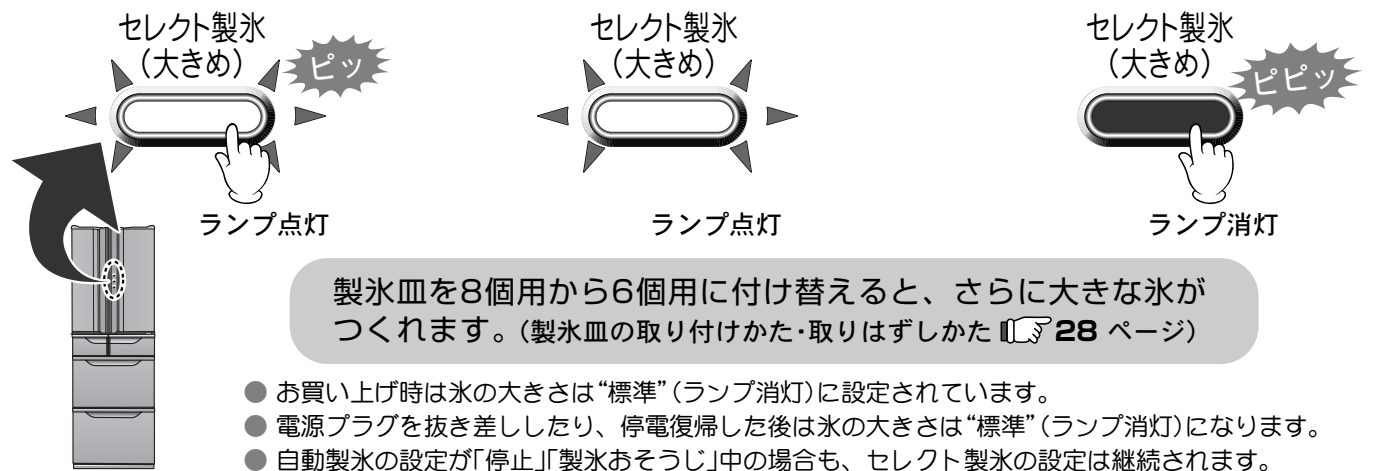
扉操作パネル ハイスピード製氷

- 扉操作パネルの「ハイスピード冷凍」ボタンを押す。
  途中で止めるときは、もう一度「ハイスピード冷凍」ボタンを押す。

次のようなときには、製氷時間が長くなります。
・冷蔵庫の使いはじめ（夏場は24時間以上かかることがあります）
・扉開閉が多いとき
・「製氷停止」から「自動製氷」に切り替えたとき

大きめの氷を作りたいときに

扉操作パネル セレクト製氷

1 セレクト製氷ボタンを押す …… **"大きめ" の氷を製氷中** …… **2 "標準" の氷を作る場合はもう一度セレクト製氷ボタンを押す**

製氷皿を8個用から6個用に付け替えると、さらに大きな氷がつくれます。（製氷皿の取り付けかた・取りはずしかた 28 ページ）

- お買い上げ時は氷の大きさは"標準"（ランプ消灯）に設定されています。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は氷の大きさは"標準"（ランプ消灯）になります。
- 自動製氷の設定が「停止」「製氷おそうじ」中の場合も、セレクト製氷の設定は継続されます。

製氷時間と製氷能力

自動製氷コーナー（8個用皿、可変シキリ奥）のとき

製氷時間（1回の製氷数 8個）

運転状態＼氷の大きさ	標準	大きめ
通常運転	約110分～140分	約150分～170分
ハイスピード製氷	約70分～90分	約90分～110分

・6個用皿の場合でもほぼ同じになります。

製氷ケースの氷の収納量

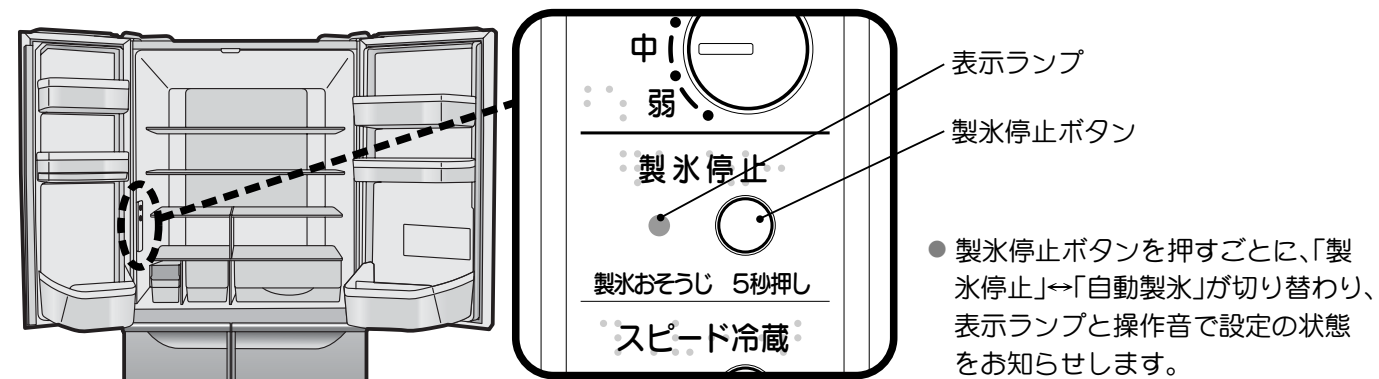
状態＼氷の大きさ	標準	大きめ
通常状態	約100個	約70個
氷を手前にならした状態	約200個	約140個

・6個用皿の場合はおよそ2割程度数が少なくなります。

（周囲温度30℃扉開閉なしのとき。製氷能力は冷蔵庫の使用状態や周囲温度で変わります。）

- 手動製氷コーナーでの製氷は自動製氷よりも時間がかかります。

自動製氷／製氷停止の設定切り替え

冷蔵室内の庫内操作パネルの製氷停止ボタンで、製氷停止に切り替えられます。

- 製氷停止ボタンを押すごとに、「製氷停止」↔「自動製氷」が切り替わり、表示ランプと操作音で設定の状態をお知らせします。

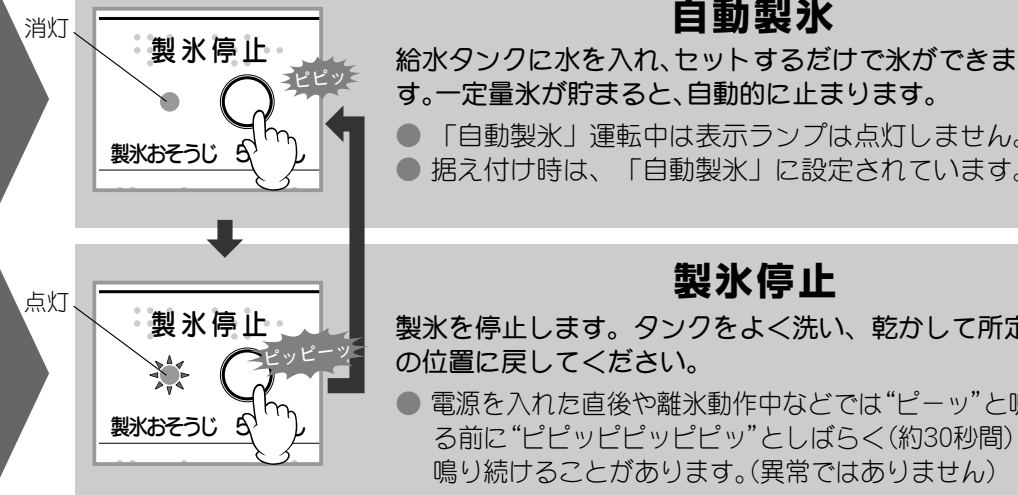
自動製氷機で氷を作るときは、

自動製氷

給水タンクに水を入れ、セットするだけで氷ができます。一定量氷が貯まると、自動的に止まります。
- 「自動製氷」運転中は表示ランプは点灯しません。
- 据え付け時は、「自動製氷」に設定されています。

冬期など長期間氷がいらないときは、

製氷停止

製氷を停止します。タンクをよく洗い、乾かして所定の位置に戻してください。
- 電源を入れた直後や離氷動作中などでは"ピーッ"と鳴る前に"ピピッピピッピピッ"としばらく(約30秒間)鳴り続けることがあります。(異常ではありません)

- 電源プラグを抜き差ししたり、停電から復帰した後は「自動製氷」の状態に戻ります。

お願い

- 給水タンクには、水以外は絶対に入れないでください。
  （ジュース、お茶、お湯などは故障や変形の原因になります。(耐熱温度は50℃)）
- 製氷ケースに水を入れて氷を作らないでください。ケースが割れる恐れがあります。
- 次のような場合は、自動製氷機の破損の原因になります。
  ・可変シキリの後ろに冷凍食品を入れた場合。
  ・可変シキリをつけずに冷凍食品を入れた場合。
  ・製氷スコップが貯氷部分に放置されていた場合。
- 製氷スコップ収納部に氷などが入った場合には、取り除いてください。製氷スコップが浮き上がり、扉が確実に閉まらなくなります。
- 製氷室の扉は、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、製氷ケースから氷がこぼれ、冷凍室に落ちることがあります。

お手入れのしかた

1 電源プラグを必ず抜き、点検をします。

①電源コードに傷がありませんか？
②電源プラグが熱くなっていませんか？

2 やわらかい布にぬるま湯を含ませて拭き取ります。

汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤を薄めて使い、その後ぬるま湯を含ませた布で拭き取ってください。

● 本体や庫内に水をかけないでください。

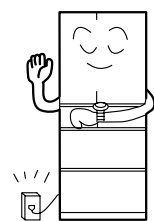
3 水滴が残っていたら、さらにから拭きをします。

4 お手入れ後、電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

● 不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

POINT

電源プラグを抜いたあと、すぐに差し込んでも10分間は冷却運転をしません。

但し、庫内が冷えていない場合は、約30秒で運転を開始します。

お願い

- 次のものは使わないでください。
  - ・台所用洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」欄に、アルカリ性または弱アルカリ性と記載されている洗剤。（プラスチック部品が割れたりプラスチック表面を黄変させることがあります。）
  - ・みがき粉・粉せっけん・石油・熱湯・たわし・酸・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤など。（塗装面やステンレス表面、プラスチックなどを傷めたり変色させることがあります。）
- 食用油が付いたときは、必ず拭き取ってください。（プラスチックが割れる恐れがあります。）
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 食品などの汁が扉表面に付いた場合は、すぐに拭き取ってください。
- プラスチック部品には、ひっかき傷のように見える細い線が入っていることがあります。これはウェルドラインといい、部品の成形時に発生するものです。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく、割れに至ることはありません。

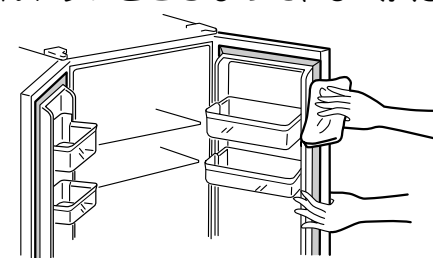
お知らせ

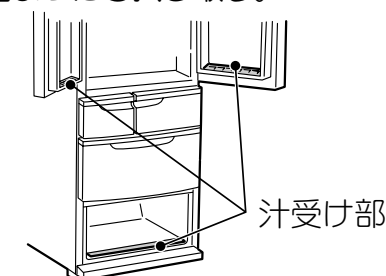
- この冷蔵庫は、蒸発皿のお手入れは不要です。

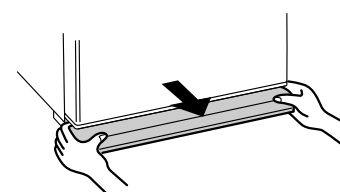
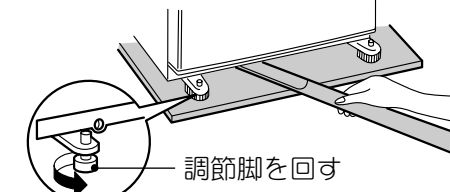
操作パネル・扉表面

- 操作パネルは、やわらかい布でから拭きをしてください。
  操作パネルには、水をかけないでください。故障の原因になります。
- 扉表面は、やわらかい布にぬるま湯を含ませて拭いてください。（ステンレスドア（扉）タイプも同様です。）
- 扉やハンドルは特別な鏡面加工をしているため指紋等が付きやすくなっています。付いたときはやわらかい布で拭いてください。
- 扉表面はフッ素コーティングされており汚れが付きにくく、サッと拭き取ることができます。但し、表面に傷が付くと汚れが取りにくくなる場合があります。

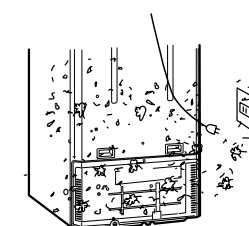
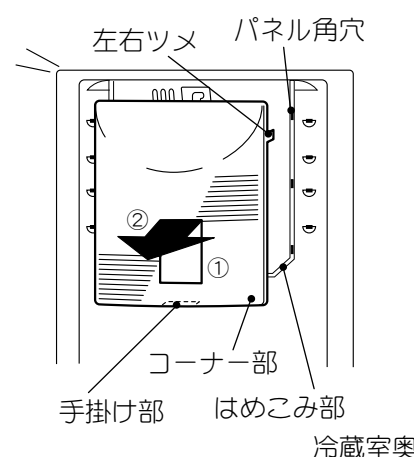
ドアパッキング

汚れやすいところなので、よく拭き取る。

汁受け部

汁が溜まったら拭き取る。

冷蔵庫の背面・床

1 脚カバーを手前に引っ張ってはずす。
取り付けは正面から押し込む。
（☞ 8,9 ページ）

2 調節脚を回し、床から浮かせ、冷蔵庫をまっすぐ手前に引き出す。傷の付きやすい床では保護用の板などを敷く。

※冷蔵庫底面のシール材は、放熱効率を上げるための部品ですので、取らないでください。

3 背面・壁・床の汚れを拭き取る。

● 背面はホコリがたまったり、空気の対流により細かいホコリが付着して黒く汚れやすいところです。

庫内灯の交換

1. 電源プラグを抜く。
2. 高さかわるん棚、ひっくりかえるん棚、固定棚を取りはずす。（☞ 24 ページ）
3. ランプカバー下側の手掛け部に指をかけて上方にずらし（①）、ランプカバー上方を支えながら手前に引いて、ランプカバーをはずす（②）。
4. 庫内灯を交換する。庫内灯は**しっかりねじ込む**。
5. 庫内灯交換後、左右ツメがパネル角穴と合うようにランプカバーをパネルに密着させ、左右ツメを奥までしっかりはめ込んでから、ランプカバー全体を下方にずらしコーナー部をパネルにはめこんで装着する。

※ ランプカバーがきちんと取り付けられていないと、冷えが悪くなることがあります。

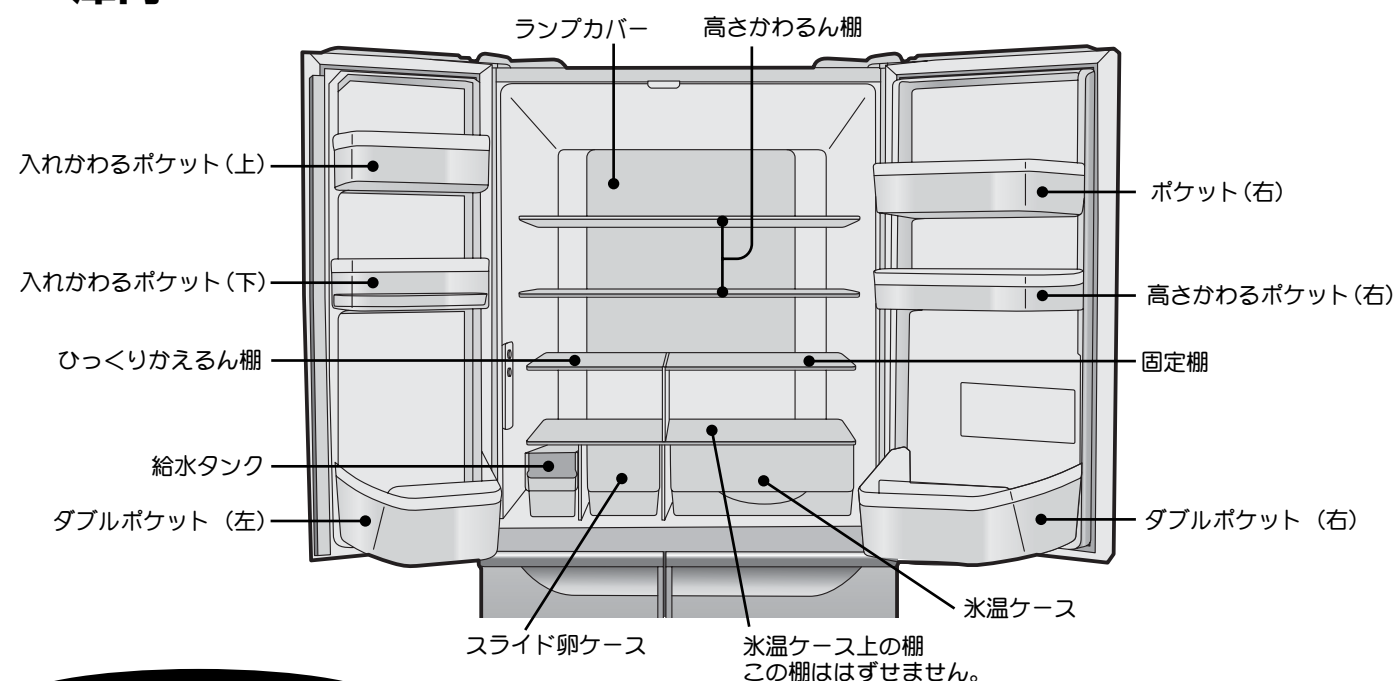
庫内灯のご注文

- ・形名をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
- ・**市販のランプは絶対に使用しないでください。** 冷媒が庫内に漏れた場合、引火して爆発する恐れがあります。

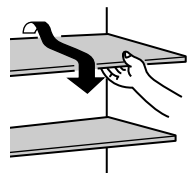
庫内灯
部品番号 R-V5400 620

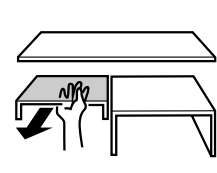
警告

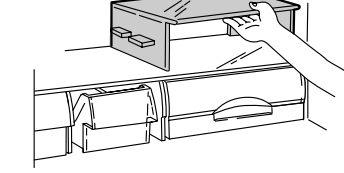
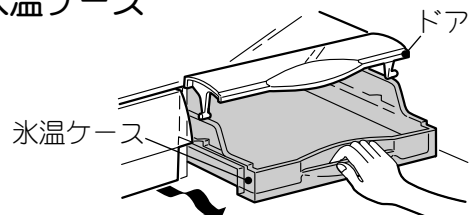
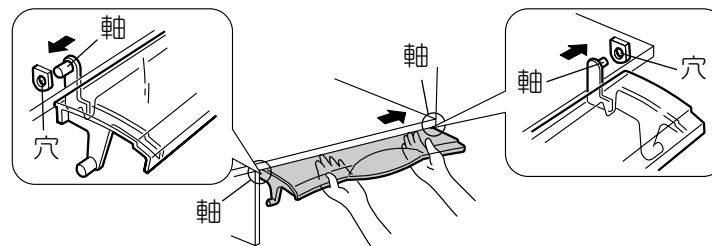
■ **庫内灯はゆるみなくしっかりねじ込んでください。**
冷媒が庫内に漏れた場合、引火して爆発する恐れがあります。

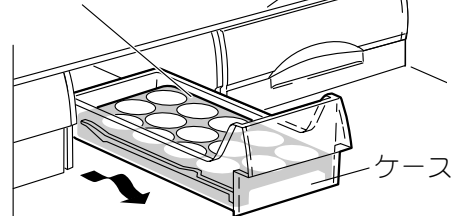
庫内

冷蔵室

高さかわるん棚

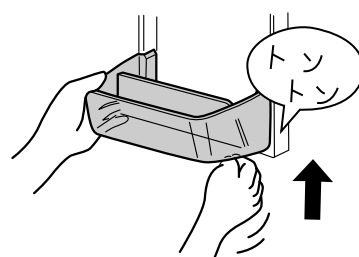
棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す。
取り付けは、棚を奥まで押し込み、奥面のツメを引っかける。

ひっくりかえるん棚

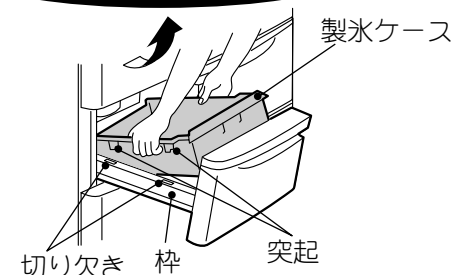
棚の手前を5cm位持ち上げ、傾けたまま引き上げてはずす。
(右側奥にストッパーがあります。)

固定棚

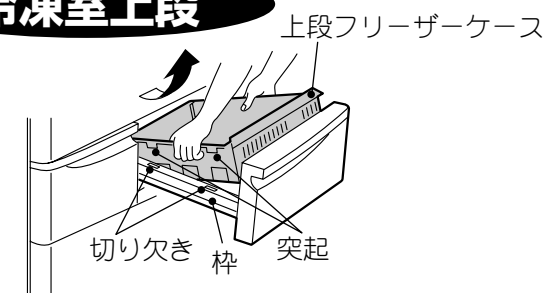
手前に引き出して、持ち上げる。

氷温ケース

ケースをいっぱいに引き出し、手前を少し持ち上げて取り出す。
取り付けは、ドアを持ち上げた状態でケースを押し込む。

ドアは通常は、はずさない。
はずれてしまった場合は、ドア左側の軸を棚下面左側の穴にはめこみ、左方向に力を加えながら、右側の軸を穴に差し込む。

スライド卵ケース

ケースをいっぱいに引き出し、手前を少し持ち上げて取り出す。

ドアポケット類

左右の底面を軽くたたきながら、持ち上げてはずす。

※各ポケット底面に刻印が入っています。(右扉用:「右 RIGHT」 左扉用:「左 LEFT」)

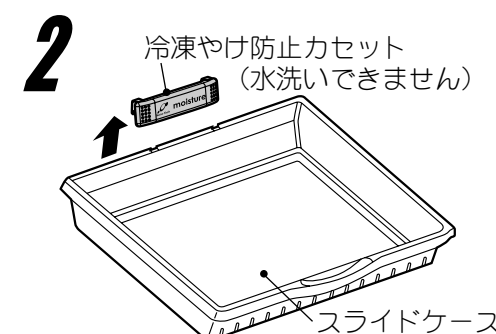
製氷室

扉を開け、製氷ケースを手前に持ち上げる。
取り付けは、製氷ケースの左右4ヶ所の突起を、枠の切り欠きに入れてセットする。

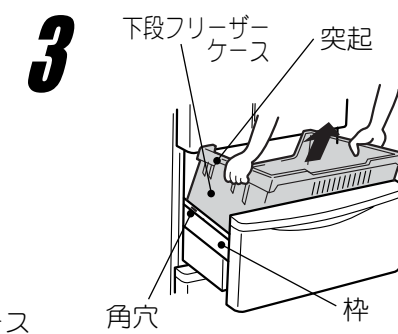
冷凍室上段

扉を開け、上段フリーザーケースを手前に持ち上げる。
取り付けは、上段フリーザーケースの左右4ヶ所の突起を、枠の切り欠きに入れてセットする。

冷凍室下段

1

扉を開け、薄形スライドケース・スライドケースをそれぞれ引き出す。

2

スライドケースの冷凍やけ防止カセットを奥側の爪2ヶ所をはずして取りはずす。

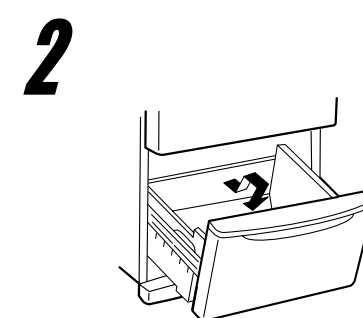
3

下段フリーザーケースを真上に持ち上げる。
取り付けは、下段フリーザーケースの左右2ヶ所の突起を、枠の角穴に入れてセットする。

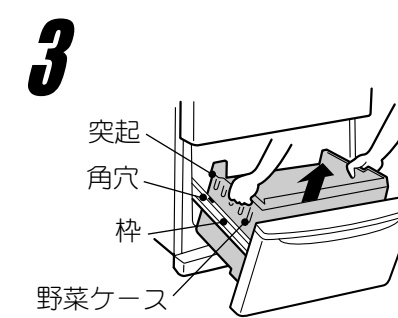
- 下段フリーザーケースのステンレストレイははずせません。

野菜室

1

扉を手前いっぱいに開け、図のように小物野菜ケースを引き上げる。

2

扉の手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、扉を傾ける。

3

野菜ケースを真上に持ち上げる。
取り付けの際は、野菜ケース左右奥側の突起を枠の角穴に入れ、野菜ケースのふちを枠の上に乗せるようにセットする。

引き出し扉をはずしたときは、下図のように取り付けてください。

- 製氷室・冷凍室上段

- 冷凍室下段

- 野菜室

給水タンクのお手入れ

「ぬめり」や「水アカ」の発生を防ぐため、給水タンク各部は必ず週1回水洗いをしてください。

- 長期間氷を作らないときは、必ず給水タンク各部をよく乾燥させて冷蔵室の所定の場所に戻してください。
  自動製氷機の設定を「製氷停止」にすることをおすすめします。（☞ 19 ページ）
- 自動製氷機の設定を「製氷停止」にしない場合、ときどき給水ポンプの運転音がしますが、異常ではありません。
- 給水タンク出入れ時に、水がこぼれた場合はふきとってください。

図のようにふたの両サイドに指を引っ掛け、ふたをはずす。
（爪でふたを開けないでください。）
ふたを閉めるときは、ツメが給水タンクにひっかかっているのを確認して、矢印の方向に閉めてください。

（浄水フィルター）

1 ケースを矢印の方向に回し、ふたからはずす。

2 ケースの下側を指で押さえながら、浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってはずす。

3 柔らかいスポンジで水洗いする。

- 台所用中性洗剤・漂白剤などは使用しない。
- 破れやすいので棒などではつつかない。

浄水フィルターの交換

- 古くなったら交換してください。（約3～4年が目安です）
- **交換用浄水フィルターのご注文**
  部品番号：RJK-30をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお買い求めください。
  （浄水フィルターをはずしても製氷能力は変わりません）

自動製氷機の自動おそうじ　製氷おそうじ機能

使いはじめや1週間以上使わなかったときは、製氷皿や給水路のニオイやホコリをおそうじしてください。

準備

1 製氷ケースを空にする。

2 製氷ケースの底にきれいなタオルを敷き、セットする。

3 給水タンクに水を入れ、セットする。

4 製氷室・冷凍室の扉を閉める。

おそうじ

5 庫内操作パネルの製氷停止ボタンを、"ピピッ"と鳴るまで"約5秒"押し続ける。

6 約3分後、アラームが鳴り終わって「おそうじ」完了。

かたづけ

7 製氷ケースにたまった氷や水を、タオルと共に取り除く。

8 乾いたタオルでケースを拭く。

給水パイプのお手入れ（水洗い）　年1回

1 **給水タンクを取り出す**

給水タンクの奥に給水パイプがあります。

2 **給水パイプを取り出す**

上の指かけ部に指をかけ、手前に倒すと取り出せます。

3 **水洗い後、給水パイプを取り付ける**

パイプの先端を穴にはめて奥に倒します。

- 給水パイプを取り外した状態で給水タンクを取り付けると水が庫内にこぼれる恐れがありますので、必ず給水パイプをセットしてから給水タンクを取り付けてください。
- 給水パイプを分解しないでください。
- 給水タンク底面には凍結防止用ヒータが埋め込まれているため、給水パイプ周辺があたたかく感じることがありますが、異常ではありません。

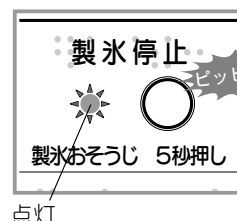
お手入れのしかた(部品のはずしかた) (つづき)

製氷皿のお手入れ (水洗い)

年1回程度

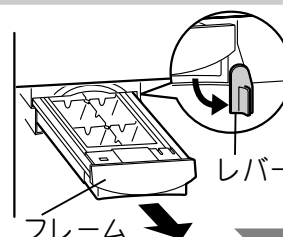
1 製氷を止める

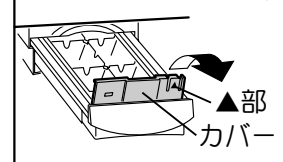
故障・水もれの原因となりますので、必ず行ってください。

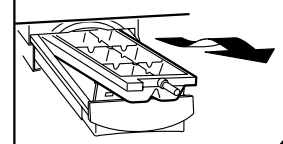
製氷室扉を閉めて、庫内操作パネルの製氷停止ボタンを押す。

"ピッピーッ"と鳴り終わり、製氷停止ランプが点灯すると取りはずしできます。

ピッピーッ
製氷停止
製氷おそうじ 5秒押し
点灯

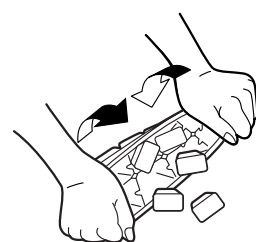
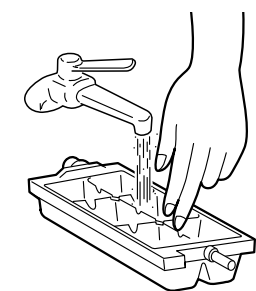
※電源を入れた直後や離氷動作中などでは、停止ボタンを押すと"ピピッピピッ…(製氷停止ランプ点滅)"としばらく(約30秒間)鳴り続けることがありますが、"ピーッ"と鳴り終わってから取りはずしてください。

2 製氷皿を取りはずす

製氷室扉を開け、フレームのレバーをおろしてフレームを手前いっぱいに引き出す。

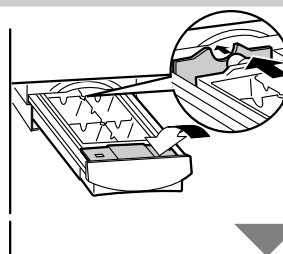
水が入っている場合があるので水平に引き出してください。

フレーム手前のカバー(▲部)を手前側におこす。

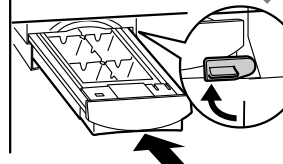
▲部
カバー

製氷皿をフレームから取りはずす。

(フレームが引き出せない場合 ☞ 33 ページ)

3 製氷皿を水洗いする

氷が残っている場合は皿をひねって落とす。

流水で軽く洗い流す。

たわしやみがき粉など傷付きやすいものは使用しないでください。
(離氷しにくくなります)

4 製氷皿を取り付ける

製氷皿フレームを手前いっぱいに引き出し8個用、6個用いずれかの製氷皿をフレームにセットしてカバーを閉じる。

水を入れてセットしないでください。

フレームをカチッと止まる奥まで確実に押し込み、フレームのレバーをあげる。

製氷停止ボタンを押して、自動製氷運転を開始します。

(製氷停止ランプが消灯していることを確認してください。)

禁止

- 製氷皿をはずすときは必ず「製氷停止」を確認してからはずしてください。(故障の原因となります)
- 製氷皿の付け替えやお手入れで製氷皿をはずしたままにしない。(製氷ケースに水がこぼれる場合があります)
- ブザーが鳴っているときは製氷室のドアを開けない。(動作を停止します)
- 製氷皿に水を入れて取り付けない。(1枚氷や故障の原因になります)
- 製氷皿を取りはずした奥の部分に手を入れない。
- 製氷室内に水をかけない。

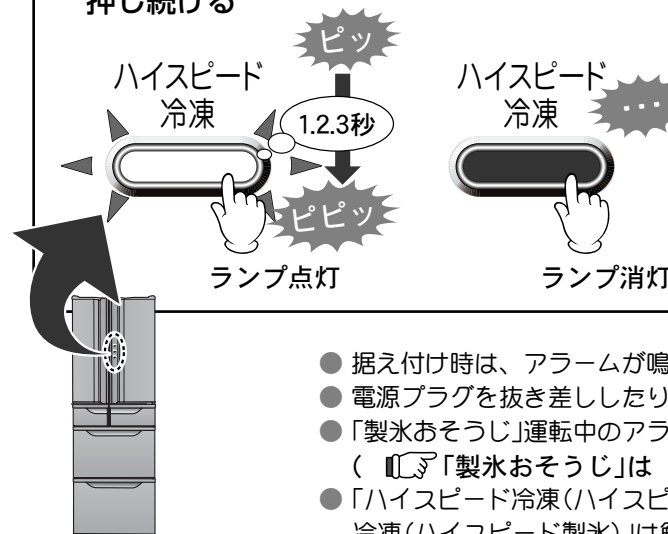
その他機能

半ドアアラーム 入/切

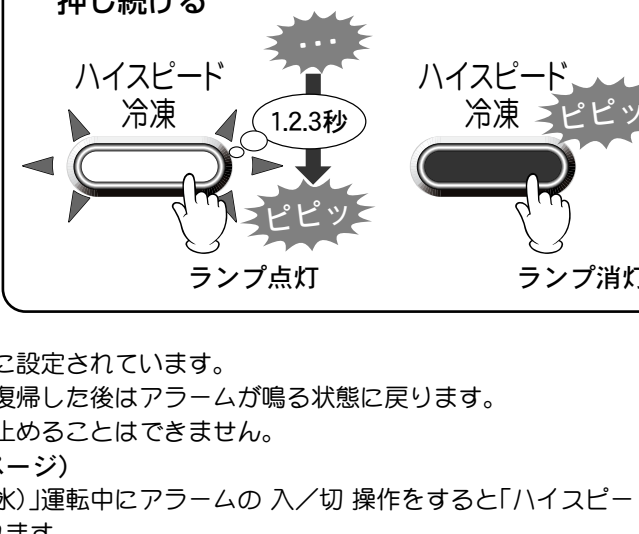
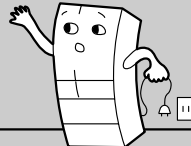
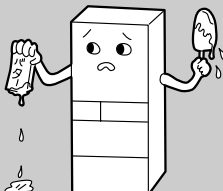
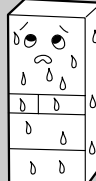
半ドアアラームと各ボタンの操作音を止めることができます。

アラームを止めるときは

1 ハイスピード冷凍ボタンを"ピピッ"と鳴るまで"約3秒"押し続ける

2 ハイスピード冷凍ボタンを押しランプを消す

再びアラームを鳴らすときは

1 ハイスピード冷凍ボタンを"ピピッ"と鳴るまで"約3秒"押し続ける

2 ハイスピード冷凍ボタンを押しランプを消す

- 据え付け時は、アラームが鳴る状態に設定されています。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後はアラームが鳴る状態に戻ります。
- 「製氷おそうじ」運転中のアラームを止めることはできません。
  (☞「製氷おそうじ」は 27 ページ)
- 「ハイスピード冷凍(ハイスピード製氷)」運転中にアラームの 入/切 操作をすると「ハイスピード冷凍(ハイスピード製氷)」は解除されます。

MEMO

故障かな?!と思ったら

（つづく）

まず、次のことをお調べください。

それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。（☞ 保証とアフターサービス… 39 ページ）

こんなとき	お調べください	こんな理由です
全く冷えない	● 電源は供給されていますか？	● 電源プラグが抜けていませんか？ ● ヒューズやブレーカーなどが切れていませんか？ ● 停電ではありませんか？
よく冷えない	● 正しく据え付けされているかご確認ください。	● 冷蔵庫に、直接日光が当たっていませんか？ ● 近くにガスレンジなど、発熱器具はありませんか？ ● 冷蔵庫の周囲に十分すき間が空いていますか？ （☞ 8 ページ）
	● 据え付け直後ではありませんか？	● 冷えるまでに約4時間、夏場は半日以上かかることがあります。
	● 温度調節が、「弱」になっていませんか？	● 温度調節を「中」または「強」にしてください。 （☞ 13,16 ページ）
	● 冷蔵庫の中を確認してください。	● 食品をつめ過ぎてはいませんか？すき間をあけて収納してください。 ● 熱いものを入れていませんか?庫内の温度があがりやすくなるので十分冷ましてから入れてください。 ● 食品などで冷気の吹き出し口をふさいでいませんか？冷気の流れが悪くなります。
	● 扉をひんぱんに開けていませんか？	● 十分に冷えるまでに時間がかかりますので、扉の開閉をできるだけ少なくしてください。
	● 扉が食品に当たって半開きになっていませんか？	● 扉を閉めたときに食品が当たらないよう収納してください。
	● ドアパッキングと本体の間にビニール袋などがはさまっていたり、すき間があいていたりしていませんか？	● 食品・ビニール袋などが扉にはさまらないように閉めてください。
	●「ハイスピード冷凍」中は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室の温度があがりやすくなります。	● 扉の開閉を少なくしてください。
	●「ハイスピード冷凍」または「ハイスピード製氷」終了直後ではありませんか？	●「ハイスピード冷凍」または「ハイスピード製氷」終了後の６０分間はランプは点灯しますが、運転は行いません。

こんなとき	お調べください	こんな理由です
冷蔵室・野菜室の食品が凍る	● 温度調節が「強」(チルド)になっていませんか？	● 冷蔵室温度調節を「中」にしてください。「強」(チルド)のときは食品や給水タンクの水が凍りやすくなります。 （☞ 13 ページ）
	● 周囲の温度が５℃以下になっていませんか？	● 給水タンクの水が凍ることがあります。冷蔵室温度調節を「弱」にすると凍りにくくなります。 （☞ 13 ページ）
	● 水分の多い食品を冷蔵室の棚の奥やフレッシュルームに入れていませんか？	● 冷気の吹き出し口に近いと凍ることがあります。特に缶飲料は破裂する恐れがありますので、十分注意してください。
	● 野菜室はケースの周りから間接的に冷却しているので、ケースの温度が低くなっています。発泡スチロールのトレイなどを敷くと、凍結を防げます。	
露や霜が付く	● 湿度が高くなると冷蔵庫外側やドアパッキング、扉に露がつくことがあります。また扉開閉をしたあと、冷気により扉表面がくもることがありますが、異常ではありません。	● 乾いた布で拭き取ってください。 ● 冷凍室温度調節を「弱」にすると露がつきにくくなります。
	● 扉はしっかり閉まっていますか？	● わずかな扉の隙間でも霜や露がつくことがあります。 ● 引き出し扉が開いていた場合、特にドア枠に霜が多く付くことがあります。
	● 扉が食品に当たって半開きになっていませんか？	
	● 冷水ボトルなどの水がこぼれていませんか？	
	● 扉を長く開けていたり、開閉回数が多くありませんか？	● 空気中の水分が冷やされると霜や露になります。
	● 野菜室が結露する。	● 野菜の乾燥を防ぎ、長持ちさせるために室内を高湿度に保っているためです。 （☞ 17 ページ）
庫内のにおいが気になる	● 食品のにおいが気になる。	● 脱臭機能は全てのにおい成分を取り除くことはできません。においの強い食品はラップなどで密封をして保存してください。
	● プラスチックのようなにおいが気になる。	● 庫内にはプラスチック部品を多く使用しています。庫内が冷えると徐々に少なくなります。

故障かな?!と思ったら

（つづく）

まず、次のことをお調べください。

それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。（☞ 保証とアフターサービス… 39 ページ）

こんなとき	お調べください	こんな理由です
音がうるさい	●床がしっかりしていますか？	●丈夫で水平な床に据え付けるか、丈夫な板を敷いて据え付けてください。（☞ 8 ページ）
	●据え付けに「がたつき」はありませんか？	
	●冷蔵庫の周囲にものが落ちていませんか？	●ものに当たって音が出ている場合は、取り除いてください。
	●背面が壁などに当たっていませんか？	●冷蔵庫の周囲にすき間を開けてください。
	●脚カバーがはずれていませんか？	●脚カバーをきちんと取り付けてください。
音が大きい 気になる音がする （このような音は異常ではありません）	●ときどき運転音が大きくなる	●据え付け後、庫内が冷えるまでは大きな力で運転するので、音が大きくなります。
		●この冷蔵庫はＰＡＭ制御圧縮機を搭載しています。扉開閉が多い時や周囲の温度が高いとき、また霜取り後は高速運転に切り替わるので、音が大きくなります。
	●水の流れるような音（チョロチョロ） ●衝突するような音（コツコツ） ●沸騰するような音（ボコボコ） ●肉を焼くような音（ジュー）	●冷却のための液（冷媒）が流れる音や、除霜時の水の流れる音、蒸発する音です。圧縮機の停止中にも聞こえることがあります。
	●何か引っかかるような音（コツコツコツ） ●うなるような音（ブーン）	●圧縮機運転前後や冷蔵室扉開閉時の庫内温度を制御するためのモーター等の音です。
	●ギュイーン、ガラガラ、ゴボゴボ	●自動製氷機が離水や給水をする音です。給水タンクが空のときにも約2時間ごとに自動製氷機のポンプの音がします。 製氷停止にすると音が出なくなります。
	●きしむような音（ピシッ）	●扉を開けると、庫内温度の変化によりプラスチック部品がきしみ、「ピシッ」と音がします。また、扉が閉まっていても同様の音がすることがあります。
	●扉を閉めた直後の（シュッ）という音	●庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるために出る音です。
	●冷蔵室扉を閉めた直後のファンの回転音	●扉を開けたときの庫内の温度上昇を素早く回復させるために、扉を閉めた直後に「オートクール」をしている音です。

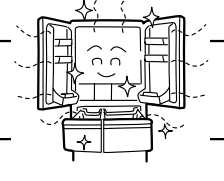
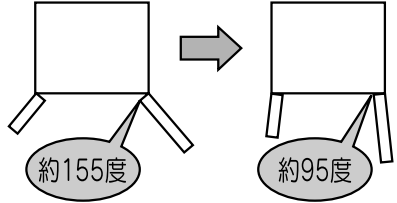
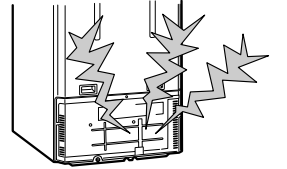
●「オートクール」は、次の操作でやめることができます。元に戻す場合は、同じ操作を繰り返します。

1. 庫内操作パネルのスピード冷蔵ボタンを"約3秒"押す。

ランプ点灯

2. スピード冷蔵ボタンを押しランプを消す。

ランプ消灯

こんなとき	お調べください	こんな理由です
製氷できない 氷の量が少ない	●自動製氷機を「製氷停止」にしていませんか？	●「製氷停止」ボタンを押して表示ランプを解除してください。（☞ 21 ページ）
	●給水タンクに水が入っていますか？	●給水タンクに水を入れてください。（☞ 18 ページ）
	●給水タンクが奥まで正しく入っていますか？	●給水タンクを「タンクセット位置」の奥まで確実に押し込んでください。（☞ 18 ページ）
	●製氷スコップは正しい位置にありますか？	●貯氷部分に放置してありますと、検知レバーに当たり、氷ができなくなります。（☞ 19 ページ）
	●製氷ケースに食品など氷以外のものを入れていませんか？	●検知レバーに当たり氷ができなくなりますので、入れないでください。（☞ 19 ページ）
	●製氷ケースの氷がいっぱいになっていませんか？	●製氷ケースの氷を手前にならしてください。
	●給水タンクの水が凍っていませんか？	●凍っている場合、冷蔵室温度調節を「弱」にしてください。（☞ 13 ページ）
	●浄水フィルターが古くなっていませんか？	●浄水フィルターを交換してください。（約３～４年が目安です。）（☞ 26 ページ）
	●停電はありませんでしたか？	●冷凍室が十分に冷えるまで氷ができません。
	●扉をひんぱんに開けたり、大量の食品を一度に入れませんでしたか?	●冷凍室が十分に冷えるまで氷ができません。
	●使いはじめなど冷凍室が十分に冷えていないときは、氷が出来るまでに約6～8時間、夏場は24時間くらいかかることがあります。また、冬場は1回当たり4時間程度かかります。	
フレームが引き出せない	●レバーをおろしましたか？	●レバーをおろしてからフレームを引き出してください。（☞ 28 ページ）
	●製氷停止ボタンを押しましたか？	●離氷動作中です。製氷室扉を閉めて、製氷停止ボタンを押し、「ピピッピピッ…」としばらく鳴り続けた後、「ピーッ」と鳴り終わってからフレームを引き出してください。（☞ 21 ページ）
氷の大きさが変わらない	●セレクト製氷で設定を変更した直後は氷の大きさがすぐに変わらない場合があります。	
	●給水タンクの水が少なくなると"大きめ"の氷ができなくなる場合があります。	●給水タンクに水をいれてください。（☞ 18 ページ）
	●平行調整がずれていませんか？	●平行調整がずれていると均一な氷ができない場合があります。（☞ 8 ページ）
氷が丸くなる 小さくなる つながっている 突起ができる	●長時間、貯氷したままになっていませんか？	●氷が昇華するためです。
	●扉をひんぱんに開けたり、長時間開けたままにしていませんか？	●冷凍室が十分に冷えるまで氷ができません。
	●停電になったことがありませんか？	●冷凍室が十分に冷えるまで氷ができません。
	●製氷皿に水を入れた状態で取り付けませんでしたか？	●製氷皿は必ず空の状態で取り付けてください。
	●給水タンクの水がなくなったり、水を補給したときの最初の氷はつながったり、小さくできることがあります。氷がつながっている場合は、付属の製氷スコップで離してください。	
突起	●均一な氷を作るために、製氷皿には水路を設けています。この水路が水のはしに突起として残ります。	

故障かな?!と思ったら（つづき）

こんなとき	お調べください	こんな理由です
製氷ケース内に水がたまる連結氷になる	●製氷皿を取り付けない状態で使用していませんか？	●製氷皿は必ず取り付けた状態でお使いください。（☞ 19,28 ページ）
	●製氷皿に水が入った状態で自動製氷コーナーにセットしませんでしたか？	●製氷皿は必ず空の状態でセットしてください。（☞ 19,28 ページ）
	●製氷皿に傷がついていませんか？	●お手入れの際にたわしやみがき粉などを使用すると、製氷皿に傷がつき、離氷しにくくなります。
	●フレームを引き出した後、水や氷が入ったまま再度セットしませんでしたか？	●製氷皿の付け替えやお手入れのとき以外はフレームを引き出さないでください。引き出した場合は、必ず皿を空の状態にしてセットしなおしてください。（☞ 19,28 ページ）
	●フレームが奥までセットされていますか？	●フレームを引き出した後、再度セットする際奥までセットしフレームのレバーをあげてください。（☞ 19,28 ページ）
	●製氷停止ボタンを押さずに製氷皿を取りはずしませんでしたか？	●製氷皿を取りはずすときには必ず製氷停止ボタンを押してください。（☞ 28 ページ）
	●製氷皿を取りはずしている間に停電になりませんでしたか？	●停電から復帰すると自動的に自動製氷運転になります。再度、製氷停止ボタンを押してください。（☞ 21 ページ）
氷がにおう	●給水タンクが汚れていたり、水が古くなっていませんか?	●「ぬめり」や「水アカ」の発生を防ぐため、給水タンクは週に一回水洗いをしてください。（☞ 26 ページ）
	●浄水フィルターをはずしていませんか？	●正しい位置につけてください。（☞ 26 ページ）
	●浄水フィルターが汚れていたり、古くなっていませんか？	●浄水フィルターの交換は約３～４年が目安です。
	●お手入れに洗剤や、漂白剤などを使用していませんか？	●浄水フィルターは水洗いしてください。（☞ 26 ページ）
	●においの強い食品をラップしないで入れていませんか？	●脱臭機能は全てのにおい成分を取り除くことはできません。においの強い食品はラップなどで密封をして保存してください。
氷に白いにごりがある	●もともと、水の中に溶け込んでいた空気の微細な気泡が、氷の中に閉じこめられた為です。	
	●ミネラルウォーターや井戸水で製氷していませんか？ミネラル分の多い水で製氷すると、白色の浮遊物（カルシウム結晶）ができることがあります。害はありません。	
「製氷おそうじ」をしたのに水が出てこない	●自動製氷機を「製氷停止」にしていたときは、給水経路が凍結し、水が出ないことがあります。「自動製氷」に設定し、３０分経過してから「製氷おそうじ」の操作をしてください。	
給水パイプがあたたかい	●ヒーターで凍結防止しているためです。異常ではありません。	
冷蔵庫の側面が熱くなる。足元から暖かい風が出る	●庫内の熱をファンや放熱パイプで庫外に逃がしているためです。使いはじめや夏場は５０～６０℃になることもありますが、安全上、性能上は問題ありません。	
扉を閉めた直後開けようとすると扉が重く感じる	●庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。	
本体に触れると"ピシッ"とわずかに電気を感じる	●電気回路上、アース（接地）に対して電気容量を生じる場合がありますが、故障ではありません。気になる場合は、アース（接地）をおすすめします。	
扉操作パネルのボタンが暗い	●省エネのため、ボタンを押してランプが点灯してから、約10秒後にランプが若干暗くなります。	
扉を閉めると他の扉が開く	●各室は冷気通路でつながっているため、扉を閉める風圧で他の扉が一瞬開くことがあります。	

こんなときには（つづく）

塗装面に傷がついたときは	●放っておくと、さびや塗装のハガレなどが発生しますので、早めに処置してください。
停電したときは	●扉の開閉を減らし、新たな食品の保存はさけてください。
長期間使わないときは	●電源プラグを抜いてから庫内や自動製氷機のおそうじをし、２～３日間扉を開けて乾燥させてください。
庫内の食品温度をはかるには	●冷蔵庫用温度計をご利用ください。 温度変化の著しい庫内の空気温度ではなく、食品に近い温度が測れます。 冷蔵庫用温度計　部品番号Ｒ－６２４ＦＢ０２３
	●一般のアルコール温度計で測る場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100mlの水を入れた容器をおき、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。
扉を開いたときに家具などに当たる	●冷蔵庫の扉が開く角度を小さく出来ます。 約155度 → 約95度 部品および取り付け作業や費用など、詳しくは販売店にご相談ください。
テレビ・ラジオなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりする	●この冷蔵庫は圧縮機をPAM制御しているため、ごく微量なノイズが発生しています。テレビ・ラジオ・インターフォンなどの機器から離して据え付けてください。電源はアンテナ線などから離れたところからとり、単独アースをすることをおすすめします。
霜取りは	●冷却器に付いた霜は自動的に解けます。解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。霜取りは操作は不要です。JIS（日本工業規格）では霜取り中および霜取り終了後の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇が5℃以下と規定されています。

	部品番号
右　扉	R-SF42VM 301
左　扉	R-SF42VM 302

庫内操作パネルの「製氷停止ランプ」が点滅している

製氷停止　製氷おそうじ　5秒押し

故障をお知らせしています。

- 「製氷停止ランプ」が点滅しているときは、自動製氷機・温度制御または、霜取り装置などに異常があることをお知らせしています。お買い上げ販売店にご相談ください。
- ご相談の前に、下表の内容をご確認ください。点滅が消えれば正常です。
- ただし、下表の点滅パターン場合は、故障でなくても表示する場合があります。

点滅パターン	考えられる原因	ご確認いただきたいこと	
3回点滅	●製氷皿や貯氷量検知レバーに、食品などが当たっている可能性があります。	●製氷室を空にして、「製氷おそうじ」を実施してください。	（☞ 19,27 ページ）
3秒点灯後1回点滅	●冷凍室扉が、食品などに当たって半開きになっている可能性があります。	●冷凍室扉がきちんと閉まることを確認し、冷凍室内が十分冷えるまでお待ちください。	（☞ 15 ページ）
3秒点灯後2回点滅	●冷蔵室扉が、食品などに当たって半開きになっている可能性があります。	●冷蔵室扉がきちんと閉まることを確認し、冷蔵室内が十分冷えるまでお待ちください。	
"ピピッピピッピピッ"と鳴りながら点滅	●電源を入れた直後や離氷動作中に製氷停止ボタンを押したときに起こります。	●しばらく（約30秒）待つと"ピーッ"と鳴って製氷停止状態になり、点滅が消えます。	（☞ 21,28 ページ）

こんなときには（つづき）

移動・運搬のとき

準　備

1 庫内の食品を取り出す

2 自動製氷機の水を抜く

3 給水タンクの水をすて、空にする

4 電源プラグを抜き、アース線をはずす

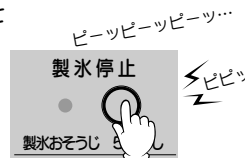
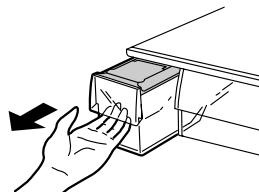
5 調節脚を上げる
（☞ 8 ページ）

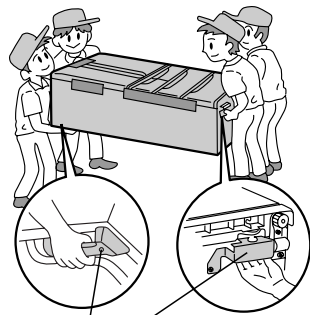
自動製氷機の水抜き

① 製氷ケースの底に、きれいなタオルを敷きセットする。

② 給水タンクをはずし、製氷室・冷凍室の扉を閉める。

③ 庫内操作パネルの製氷停止ボタンを“約5秒”押しつづける。

④ 約3分後にアラームが止まったら製氷ケースにたまった氷や水をタオルと共に取り除く。

⚠注意

■ **冷蔵庫を移動・運搬するときは、通路に防護シートなどを敷いてから行ってください。**
冷蔵庫内部の蒸発皿（外部から見えません）および給水タンク内に水が残っていると、移動・運搬時に水が床面にこぼれることがあります。

取っ手（手かけ部）を持つ。

- 扉が開かないように、テープでしっかり固定してください。冷蔵室扉のハンドルには、テープの下に紙などをあてて、粘着剤がハンドルにつかないようにしてください。
- 安全上、必ず4人で運搬してください。
- イラストのように扉を上にして運搬してください。
- 引き出し式扉の取っ手を、運搬時に使わないでください。破損の原因になります。
- 車などで運搬の際は、**横積みをしない**でください。圧縮機の故障の原因になります。
- 取っ手（手かけ部）をクレーン等で吊らないでください。落下する恐れがあります。
- 冷蔵庫底面のシール材は、放熱効率を上げるための部品ですので、取らないでください。

⚠警告

■ **背面・側面などをぶつけたり傷つけたりしない**
壁内の配管から冷媒が漏れ出すと、火災・爆発の原因となります。

仕様

仕　様

項目		仕様
形名		R-V5400
種類		冷凍冷蔵庫
定格内容積		535L
	冷蔵室	273L
	野菜室	99L 〈61L〉
	冷凍室	163L 〈100L〉
外形寸法		幅740mm×奥行675mm×高さ1819mm
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz 共用
電動機の定格消費電力		125W
電熱装置の定格消費電力		197W
年間消費電力量		冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質量		95kg

部　品

区分	部品	数量
冷蔵室	高さかわるん棚	…2
	ひっくりかえるん棚	…1
	氷温ケース	…1
	スライド卵ケース	…1
	卵スタンド（14個用）	…1
	入れかわるポケット（上）（下）	…各1
	ポケット（右）	…1
	高さかわるポケット（右）	…1
	ダブルポケット（右）（左）	…各1
	卵スタンド（10個用）	…1
	給水タンク	…1
	給水パイプ	…1
製氷室	製氷ケース	…1
	防音マット	…1
	可変シキリ	…1
	製氷スコップ	…1
	製氷皿（8個用）	…1
	製氷皿（6個用）	…1
冷凍室上段	上段フリーザーケース	…1
	アルミトレイ	…1
冷凍室下段	ステンレストレイ	…2
	薄形スライドケース	…1
	スライドケース	…1
	冷凍やけ防止カセット	…1
	下段フリーザーケース	…1
野菜室	野菜ケース	…1
	小物野菜ケース	…1
その他	脚カバー	…1
	取扱説明書	…1
	保証書	…1

- 「定格内容積」は、日本工業規格（JIS　C9801）に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
- 〈　〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室（野菜室，冷凍室）の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
- 霜取りは 1 日 1～2 回程度、1 回の霜取り時間は20～30分程度です。

ノンフロン冷蔵庫について／冷凍室の性能／収納できる食品の重さ

ノンフロン冷蔵庫について

- この冷蔵庫には冷媒及び断熱材にフロンを使用せず、炭化水素（ノンフロン）を使用しています。炭化水素はオゾン層を破壊せず地球温暖化への影響も非常に少ない地球環境に配慮した物質です。
- ノンフロン冷媒は可燃性です。冷媒は冷媒回路に密封されており、通常のご使用で漏れ出すことはありませんが、万が一、冷媒回路を傷つけてしまった場合は、火気・電気製品の使用を避け、窓をあけて換気してください。その後、販売店または修理受付窓口0120-3121-68にご連絡ください。

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ＊＊＊＊（フォースター）です。
冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

■ JISの試験方法は次の通りです。

- 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節をして、試験を行います。
- 冷蔵庫の据え付け場所の温度は、15～30℃の範囲を基準としています。
- 冷凍室定格内容積100L当たり4.5kg以上の食品を24時間以内で－18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記　　号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3ヵ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

収納できる食品の重さ

棚やケースに収納できる食品の重さは次の通りです。

		R-V5400
冷蔵室	高さかわるん棚	19.0kg
	ひっくりかえるん棚・固定棚	19.0kg
	氷温ケース上の棚	10.0kg
	氷温ケース	3.0kg
	スライド卵ケース	1.5kg
野菜室	小物野菜ケース	8.0kg
	野菜ケース	15.0kg
冷凍室上段	上段フリーザーケース	7.0kg
冷凍室下段	薄形スライドケース	5.5kg
	スライドケース	7.0kg
	下段フリーザーケース	13.0kg
製氷室	製氷ケース	可変シキリを手前につけた場合、小物冷凍食品（0.3kg）を収納できます。（☞ 19 ページ）

保証とアフターサービス

（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、**食品の補償など、商品修理以外の責はご容赦ください。**

保　証　期　間

お買い上げの日から1年間です。（ただし、冷凍サイクル・庫内冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはTEL0120-3121-68にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

30～35ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品　　名	日立冷凍冷蔵庫
形　　式	R-V5400 （冷蔵室扉内側の銘板に記載されている形式をお知らせください。）
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　　）　　－
訪問希望日	

※形式は保証書にも記載されています。

■ 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料
などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれてます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。